令和３年度

事業報告書

ふれあいネットワーク

社会福祉法人 箕面市社会福祉協議会

目　　次

《事業報告概要》 …… 1

1・3　法人運営事業サービス区分・団体事務事業サービス区分

１．理事会、評議員会、福祉サービス苦情解決委員会 …… 2

(1) 理事会開催状況

(2) 理事監事意見交換会開催状況

(3) 評議員会開催状況

(4) 福祉サービス苦情解決委員会議開催状況

(5) その他の会議開催状況

(6) 創立６０周年記念地域共生社会シンポジウムの開催

２．活動協力金・会員募集活動 …… 5

(1) 活動協力金

(2) 組織構成会員

３．自主財源確保の取り組み …… 6

(1) 寄附

(2) 基金運営

４．関係団体との連携・支援 …… 7

(1) 社会福祉団体への助成

(2) 障害者社会参加促進事業

(3) 社会福祉団体事務

(4) 共同募金会

(5) イベント用機材貸出事業

(6) 広報支援事業

５．研修の開催、参加状況 …… 10

(1) 外部研修（職員）

(2) 内部研修（役員・職員）

６．箕面市社会福祉法人連絡会 …… 11

(1) 総会

(2) 研修会

７．検体採取場の受付・場内整理業務

2　地域福祉活動推進事業サービス区分

地域福祉活動推進事業 …… 12

(1) 小地域ネットワーク活動

(2) 地区敬老事業

(3) おせち料理配食事業

(4) 地区福祉会会長会

(5) 地区担当職員の取り組み（ささえあいステーションエリア外地区）

(6) 地域福祉活動拠点利用状況一覧

(7) みのお見守り支援システム『よりそい隊』
(8) フードバンク事業
(9) 大阪府福祉基金を活用した事業
(10) 第３期箕面市地域福祉活動計画策定に向けた取り組み
(11) ボランティアセンター活動推進事業 …… 27
(12) 講師の派遣
(13) 研修への参加状況
(14) 宣伝啓発活動
(15) 相談案内・生理用品の配布（受託事業）
(16) 赤い羽根共同募金　箕面市地域支え合いプロジェクト助成金

4 善意銀行事業サービス区分
善意銀行事業 …… 37

5 ふれあいホームサービス事業サービス区分
ふれあいホームサービス事業 …… 38
(1) 新規利用の状況
(2) 協力会員の状況
(3) ふれあいホームサービス月別利用状況
(4) 運営委員会開催状況
(5) 協力会員募集説明会
(6) 交流会の開催（協力会員対象）
(7) 広報活動

6 日常生活自立支援事業サービス区分
日常生活自立支援事業（みのおまかせてねット）…… 41
(1) 契約件数
(2) 支援実績（生活支援員活動件数）
(3) 相談援助件数
(4) 市民向け啓発事業

7 資金貸付事業サービス区分
資金貸付事業 …… 43
(1) 年度内新規貸付決定状況
(2) 相談内訳
8 地域包括支援センター事業サービス区分
地域包括支援センター事業（受託事業） …… 45
(1) 総合相談支援
(2) 介護予防ケアマネジメント
(3) 権利擁護
(4) 地域包括支援ネットワークの構築
(5) 研修の開催、参加状況
9 生活困窮者自立支援事業サービス区分
生活困窮者自立支援事業（受託事業）…… 52
(1) 相談支援の状況
(2) 生活困窮者自立支援推進協議会の開催
(3) 就労準備のためのグループワーク
(4) 認定生活困窮者就労訓練の実施に向けた調整
(5) ひきこもり家族のつどいの運営
(6) ひとり親家庭等への子どもの食事支援について
10 顔の見える総合相談・支援モデル事業サービス区分
顔の見える総合相談・支援モデル事業（受託事業） …… 56
１．地域アセスメント（地域のボランティア活動等の把握）
２．総合相談（地域活動や個人の生活上の困りごとへの対応）
(1) ささえあいステーションの開所
(2) 相談経路
(3) 相談内容
(4) 相談対応
３．協議体の開催（地域のネットワークづくりや地域課題の共有）
(1) 定例協議体（ささえあい推進会議）
(2) 取組会議（新たな取り組みの検討）
４．広報・出張講座の開催
(1) 社協だより発行
(2) ささえあい通信発行
(3) 見守りラックの設置
(4) ホームページ、ブログの掲載

11 居宅介護支援事業サービス区分
居宅介護支援事業 …… 64
(1) レセプト請求実績
(2) 認定調査実績
(3) 研修の開催、参加状況
12～16 訪問介護事業サービス区分・障害居宅介護事業サービス区分　等
ホームヘルプ事業 …… 66
(1) ホームヘルプサービス派遣実績
(2) 研修の開催、参加状況
17 稲デイサービスセンター事業サービス区分
稲デイサービスセンター事業 …… 68
(1) 通所介護事業実績
(2) 市民・地域に開かれた事業展開
(3) 研修の開催、参加状況
18～21 介護老人保健施設事業サービス区分
箕面市立介護老人保健施設運営事業 …… 70
(1) 介護老人保健施設サービス、短期入所サービスの実績
(2) 介護度別　施設利用者数
(3) 月末在所者数
(4) 入所経路及び退所先
(5) 通所リハビリテーション利用者数
(6) 訪問リハビリテーション利用者数
(7) 特別なケアを必要とする利用者数
(8) 年間実施行事
(9) ボランティアグループ月間受入状況
(10) 家族・職員交流会
(11) 自主消防訓練の実施
(12) 看護、介護等学生実習生の受入
(13) 福祉・介護体験等
(14) 研修の開催、参加状況
(15) 地域向け交流事業

事　業　報　告　概　要

令和３年度も新型コロナウイルスの感染拡大が続き、活動の制限、イベントの中止など様々な影響を受けましたが、第３期地域福祉活動計画を策定し、創立６０周年記念地域共生社会シンポジウムを開催する中で、改めて地域福祉の方向性を確認することができました。

また、コロナ禍で増えた生活困窮者からの相談については、相談体制を強化するとともに貸付相談と生活困窮者自立支援事業の生活相談を同じ窓口にすることで、貸付だけでは解決できない相談にもスムーズに対応できるようにしました。

介護サービス事業については、コロナ禍での利用自粛など影響は続いていますが、利用者数は一定回復し、収益改善の目途が立ちました。

【重点目標及び主な取り組み】

（１）　地域共生社会の実現の推進

地域福祉活動計画で掲げた取り組みの推進を目指し、顔の見える総合相談・支援モデル事業のモデル校区以外の校区においても、地域アセスメント（地域訪問）の実施やささえあい推進会議の開催に取り組みましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、ささえあい推進会議の開催は１校区のみとなりました。地域活動についても、地区敬老会は全地区で中止、サロン活動も多くの地域で中断となりましたが、地域福祉活動拠点へのオンライン環境の整備を行い、ＩＣＴ機器を使った新たな取り組みを始めることができました。

１年遅れでの策定となった地域福祉活動計画については、行政が策定する地域福祉計画と連動したものとなるよう市職員とのワーキングチームを結成し、テーマ別検討会を開催した上で策定しました。

（２）組織・財政の基盤整備・強化

令和２年度の赤字決算を踏まえ、持続可能な組織運営基盤の整備を目指し、人事給与制度の見直しを行いました。中堅・ベテラン職員の昇給額を減らすなど人件費の伸びを抑える一方、初任給の増額、資格手当の導入など人材確保がしやすい条件整備に取り組みました。

（３）介護保険事業の安定経営

新型コロナウイルスの感染は、利用者・職員ともに単発のみで、クラスターが生じる事態は回避することができました。そのため、コロナ禍での事業運営が一定安定し、目標としていた繰入金の確保を達成しました。その一方、人員体制の整備については、職員の入れ替わりが多く、恒常的な人員不足の状況が続きました。

1	法人運営事業サービス区分
3	団体事務事業サービス区分

１．理事会、評議員会、福祉サービス苦情解決委員会

（１）理事会（定数：第２４期後期１４人、第２５期前期１５人）開催状況：７回

年月日	主な議題	会場	出席者
3. 6. 8	事務処理規程の一部改正に関する件 臨時職員・非常勤職員就業規程の一部改正に関する件 評議員選任細則の一部改正に関する件 役員等賠償責任保険契約に関する件 令和2年度事業報告に関する件 令和2年度決算に関する件 評議員選任・解任委員会委員の選任に関する件 第25期評議員選任候補者の推薦に関する件 第25期前期理事及び監事選任候補者に関する件 令和3年度収入支出補正予算（第1号）に関する件 定時評議員会の開催に関する件	講堂	理事14 監事 2
6.25	会長の選定に関する件 副会長・常務理事の選定に関する件 評議員選任・解任委員会委員の選任に関する件 赤い羽根共同募金　箕面市地域支え合いプロジェクト助成金交付要綱に関する件 新任役員研修について 今後の理事会日程について 関係機関団体等の役割分担について	講堂	理事13 監事 1
9.28	令和3年度収入支出補正予算（第2号）に関する件 臨時職員・非常勤職員就業規程一部改正に関する件 福祉サービス苦情解決委員（第三者委員）選任の同意を求める件 評議員会の開催に関する件 介護老人保健施設職員給与規程の一部改正に関する件 創立60周年記念事業について	講堂	理事13 監事 2
11.30	令和3年度中間期における事業及び会計決算に関する件 箕面市社会福祉協議会　規程の一部改正に関する件 善意銀行の払出に関する件 第3期箕面市地域福祉活動計画（案）に関する件 令和3年度収入支出補正予算（第3号）に関する件 第3回評議員会の開催に関する件 新年互礼会の中止について	講堂	理事11 監事 1
4. 1. 6	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会副会長選定に関する件	書面審議	理事15 監事 2

1.25	福祉サービス苦情解決委員（第三者委員）選任の同意を求める件 評議員会の開催に関する件 創立60周年記念事業に関する件 令和4年度事業計画（案）に関する件 人事給与制度の見直し（案）について 表彰規程の見直しについて	講堂	理事14 （オンライン１） 監事 1
3.15	介護職員処遇改善支援補助金等にかかる規定の一部改正に関する件 令和３年度 収入支出補正予算（第４号）に関する件 表彰規程の一部改正に関する件 経理規程の一部改正に関する件 役員等賠償責任保険契約に関する件 人事給与制度の見直しに伴う規程の改正に関する件 介護老人保健施設職員給与規程の一部改正に関する件 令和４年度 事業計画及び予算（案）に関する件 第 25 期評議員の解任及び選任候補者の推薦に関する件 介護老人保健施設施設管理者の解任及び選任に関する件 職員の処分について	会議室	理事11 監事 1

（２）理事監事意見交換会　開催状況：１回

年月日	主な議題	会場	出席者
4. 2.22	生活困窮者自立支援事業について 顔の見える総合相談・支援モデル事業について	講堂	理事 10 監事 1

（３）評議員会（定数：第２４期後期３２人、第２５期前期３３人）開催状況：４回

年月日	主な議題	会場	出席者
3. 6.25	評議員選任細則の一部改正に関する件 役員等賠償責任保険契約に関する件 令和２年度事業報告に関する件 令和２年度決算に関する件 第 25 期前期理事及び監事選任候補者に関する件 令和３年度収入支出補正（第１号）に関する件 箕面市地域福祉活動計画（第３期）の策定状況について	講堂	21 （オンライン 8）
10.28	令和３年度収入支出補正予算（第２号）に関する件 介護老人保健施設職員給与規程の一部改正に関する件 創立 60 周年記念地域共生社会シンポジウムについて 事業説明「生活困窮者自立支援事業」	講堂	28 （オンライン 6）

12.24	令和3年度中間期における事業及び会計決算に関する件 第3期箕面市地域福祉活動計画に関する件 令和3年度収入支出補正予算（第3号）に関する件 第25期前期理事選任に関する件 創立60周年記念地域共生社会シンポジウムについて	講堂	25 （オンライン5）
3.25	人事給与制度の見直しに伴う規程の改正に関する件 介護老人保健施設職員給与規程の一部改正に関する件 令和3年度収入支出補正予算（第4号）に関する件 令和4年度事業計画及び予算（案）に関する件 第25期前期理事の選任に関する件	講堂	26 （オンライン5）

（4）福祉サービス苦情解決委員会（委員：５人）開催状況：２回

年月日	主な議題	会場	出席者
3. 8.30	令和3年度福祉サービスに関する苦情解決事業体制について 前回の苦情受付報告及び報告内容のその後について 箕面市社協における福祉サービス苦情受付状況及び対応について （令和3年1月1日～6月30日） ・苦情件数　5件（ホームヘルプ事業4件、デイサービス事業1件）	講堂	5
4. 3.23	令和3年度福祉サービスに関する苦情解決事業体制について 前回の苦情受付報告及び報告内容のその後について 箕面市社協における福祉サービス苦情受付状況及び対応について （令和3年7月1日～12月31日） ・苦情件数　9件 （ホームヘルプ事業3件、居宅介護支援事業1件、デイサービス事業1件、介護老人保健施設事業4件）	講堂	4

（5）その他の会議開催状況

会議の名称	開催日
正副会長会	4.13　5.10　6.1　7.13　9.14　10.12　11.9　12.14 1.11　2.8　3.8　（全11回）
監事監査	5.28　11.16
評議員選任・解任委員会	6.8　3.24
表彰選考委員会	9.28

（６）創立６０周年記念地域共生社会シンポジウムの開催

年月日	会場	出席者	主な内容
3.12.11	箕面市立 文化芸能劇場 大ホール	499 （オンライン42）	オープニング　社会福祉協議会紹介映像 一部　式典　　被表彰者への表彰状及び感謝状の贈呈 表彰：29人　　感謝：258人 二部　地域活動紹介及びトークセッション ～箕面の地域活動の魅力とこれから～ 登壇者　①ライオンズマンション箕面自治会 ②池田泉州銀行箕面駅前支店 ③箕面団地自治会 ④東部高齢者くらしサポート コーディネーター：川本健太郎氏 （神戸学院大学准教授） ※箕面市地域福祉活動計画策定委員長

２．活動協力金・会員募集活動

（１）活動協力金

社協の安定した組織基盤の確立と効率的運営を推進し、地域福祉の増進を図るため、活動協力金の取り組みを行った。新型コロナウイルスの影響により活動が制限される状況が続いたが金額はほぼ前年並みを確保することができた。（前年度比　741 人減、100,500 円減）

※令和３年度から協力金Ａ（１口 500 円）、協力金Ｂ（１口 1,000 円）の種別をなくし、協力金（１口 500 円）として統合した。

①集計

種別	令和3年度			令和2年度		
協力金	12,133人	17,146口	8,573,000円	12,671人	17,965口	8,982,500円
特別協力金	466人	602口	3,010,000円	435人	542口	2,710,000円
合　計	12,599人		11,583,000円	13,106人		11,692,500円

※集計は③の市外在住者を含む

②地区福祉会別集計

地区	協力金		特別協力金		会費合計
	（人）	（口）	（人）	（口）	（円）
豊川北小地区福祉会	1,003 (8)	1,578 (414)	54 (1)	63 (2)	1,104,000
東小地区福祉会	193 (5)	528 (222)	36 (5)	67 (20)	599,000
豊川南小地区福祉会	275 (5)	622 (112)	63 (10)	81 (21)	716,000

萱野東小地区福祉会	843 (4)	1,244 (230)	48 (3)	61 (7)	927,000
萱野北小地区福祉会	868	936	17 (1)	20 (1)	568,000
萱野小地区福祉会	757 (2)	1,145 (34)	18 (2)	31 (8)	727,500
北小地区福祉会	889	1,383	23	30	841,500
中小地区福祉会	1,283 (1)	1,520 (1)	47 (2)	59 (5)	1,055,000
箕面小地区福祉会	1,265	2,028	41	44	1,234,000
西小地区福祉会	2,157	2,562	29	31	1,436,000
南小地区福祉会	925 (1)	1,449 (42)	40 (1)	54 (10)	994,500
西南小地区福祉会	1,509 (1)	1,852 (18)	32	40	1,126,000
止々呂美小地区福祉会	161	289	17	20	244,500
合計	12,128 (27)	17,136 (1,073)	465 (25)	601 (74)	11,573,000

※（　　）内は内数：自治会として会費をいただいた件数、口数及び金額である。
※会費を自治会としていただいた場合、「１自治会」を「１人」として集計している。
※前年度までの協力金Ｂについては、500 円２口として換算。

③市外在住のふれあいホームサービス利用者及び市外の団体からの協力金納入集計

種別	令和 3 年度			令和 2 年度		
協力金	5 人	10 口	5,000 円	9 人	18 口	9,000 円
特別協力金	1 人	1 口	5,000 円	－	－	－
計	6 人	11 口	10,000 円	9 人	18 口	9,000 円

（２）組織構成会員

福祉関係団体だけでなく、広く他の団体に対して、社協の運営、事業に参加してもらえるよう、組織構成会員としての参加を求めた。※１口 1,000 円

令和3年度	令和2年度
71団体　251口　会費合計 251,000円	69 団体　227口　会費合計 227,000円

３．自主財源確保の取り組み

（１） 寄附　　※善意銀行への寄附含む

種別	令和 3 年度		令和 2 年度		前年比	
現金	38 件	813,103 円	39 件	2,592,975 円	△1 件	△1,779,938 円
物品	41 件	－	31 件	－	10 件	－
合計	79 件		70 件		9 件	

（２）基金運営

①基金等残高及び運用状況　　（単位：円）

基金等種別	年度末残高	3年度運用利息	2年度運用利息	増減
市民福祉基金	429,450,098	6,502,982	5,258,626	1,244,356
地域福祉活動推進基金	200,000,000	2,917,018	3,211,464	△294,446
合計	629,450,098	9,420,000	8,470,090	949,910

②運用先種別

種別	金額（円）	比率
定期預金（現金）	28,164,898	4.5%
債券	601,285,200	95.5%
合計	629,450,098	100%

４．関係団体との連携・支援

（１）社会福祉団体への助成

箕面市内の社会福祉活動を実施する当事者団体（７団体）及び公益活動団体（７団体）に対し活動補助金を交付した。

種別	団体名	補助金額（円）
当事者団体	箕面市母子寡婦福祉会	115,000
	箕面市戦没者遺族会	222,000
	箕面市身体障害者福祉会	100,000
	箕面市肢体不自由児（者）父母の会	35,000
	箕面手をつなぐ親の会	63,000
	箕面市老人クラブ連合会	500,000
	箕面市原爆被害者の会	活動停止
	箕面断酒会	辞退
	びわの会（箕面認知症家族会）	50,000
公益活動団体	箕面市赤十字奉仕団	268,500
	箕面地区保護司会	115,500
	箕面市更生保護女性会	210,000
	箕面市更生保護協会	57,500
	箕面市献血推進協議会	79,500
	箕面早起き歩こう会	48,000
	箕面市青少年指導員連絡協議会	21,000
合計		1,885,000
令和２年度実績		1,959,750

（２）障害者社会参加促進事業

障害者の社会参加を促進するため、障害者団体の行事に対して、活動費の助成を行った。コロナ禍のため、今回は１団体となった。

〈野外活動訓練〉箕面市身体障害者福祉会　⇒　中止

〈日帰りバスツアー〉箕面市肢体不自由児者父母の会

年月日	行先	主な内容	参加者
3.10.23	淡路島ファームパーク　イングランドの丘	外出がしづらい重度障害児者と家族によるバスツアー	15 （当事者　5 家　族　5 ガイドヘルパー5）

※令和３年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためボランティアの参加はなし

（３）社会福祉団体事務

市内１３の社会福祉団体からの依頼により事務補助を行った。

社会福祉団体名	
箕面市肢体不自由児（者）父母の会	日本赤十字社箕面地区
箕面地区保護司会	箕面市戦没者遺族会
箕面市身体障害者福祉会	箕面市献血推進協議会
箕面市母子寡婦福祉会	箕面市老人クラブ連合会
箕面市赤十字奉仕団	箕面市更生保護協会
箕面手をつなぐ親の会	箕面市民生委員児童委員協議会
箕面市更生保護女性会	

（４）共同募金会

新型コロナウイルスの感染拡大により街頭募金を縮小するなど影響は受けたが、歳末たすけあい募金を含めての募金合計は前年度を大きく超える結果となった。（事務局：社協）

①赤い羽根共同募金実績　3,679,089 円（前年度実績：3,697,582 円、比率 99%）

内訳	戸別	学校	職域	街頭	法人･団体	募金箱
協力件数	142自治会	36幼保小中	9社	2か所	21社	7か所
実績額(円)	2,666,579	531,479	215,293	84,300	163,710	17,728

※バッジ募金 321 個 160,500 円及び府に直接入金された分は上記の数値に含む

②歳末たすけあい募金実績　2,654,378 円（前年度実績：614,822 円、比率　432%）

（円）

年度	当年度実績額	前年度繰越額	合計額
3 年度	2,654,378	236,824	2,891,202
2 年度	614,822	3,003,002	3,617,824
前年比	2,039,556	△2,766,178	△726,622

内訳	戸別
協力件数	126自治会
実績額(円)	2,575,232

配分内容		配分金（円）
・生活保護世帯に準ずる世帯	54世帯	1,182,000
・単親家庭高校入学準備世帯	43世帯	946,000
・福祉団体活動助成	2団体2事業	20,000
・社会福祉協議会が実施する地域福祉事業（おせち料理の配食）		10,000
・運営費		20,000
合計		2,178,000

※募金合計と配分金との差 713,202 円は、次年度へ繰り越し

（5）イベント用機材貸出事業

地域福祉活動の活性化や関係諸団体との接点として、各種イベント用品を地区福祉会や地域活動を行う団体、社会福祉施設等へ貸出を行っている。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大によりイベント等が中止となったため、貸出はなかった。

（6）広報支援事業

地域福祉活動における広報支援として、大型プリンターによりＡ０、Ａ１、Ａ２のポスター及び横断幕を作成した。

種類別実績　（単位：件）

種別	3 年度	2 年度
横断幕	13	5
A0 ポスターサイズ	1	1
A1 ポスターサイズ	1	1
A2 ポスターサイズ	1	1
合計	16	8

団体利用実績　（単位：件）

団体	3 年度	2 年度
福祉会	2	1
他団体	14	7
合計	16	8

５．研修の開催、参加状況

（１）外部研修（職員）

年月日	名称・テーマ	主催	参加者
3. 4.20 5 日間	市町村社協新任職員研修会 「社会福祉協議会が担う役割の理解」他	大阪府社会福祉協議会	6 名
6.16 7 日間	社会福祉法人会計の簿記入門編及び初級編 「会計入門、演習 他」	大阪府社会福祉協議会	1 名
12.10	中堅職員研修 「中堅職員に求められる役割について」	大阪府社会福祉協議会	2 名
12～3 月	人権セミナー 「地域で生きる」障害者問題市民講座　他 11	箕面市	30 名
4. 3.14	社会福祉協議会活動全国会議 「コロナ禍の経験を踏まえ、社協として孤独・孤立にどのように取り組むか」	全国社会福祉協議会	5 名
3.20	北摂ブロック職員研修 「地域共生社会とは」	豊中市社会福祉協議会	2 名

（２）内部研修（役員・職員）

主に主査級を対象に組織課題となっている内容について毎月テーマを設定して実施した。

年月日	名称・テーマ	会場	参加者
3. 4. 1 2	新規採用職員研修 「箕面市社会福祉協議会について」他各事業説明	講堂、会議室	16 名
4.27	マニュアル作成について	講堂	8 名
5.25	文書事務について	講堂	17 名
6.22	ファシリテーション講座　実践編 講師：ちまちま工房　永田 千砂氏	講堂	11 名
7.27	業務継続計画（BCP）、災害時対応について	講堂	9 名
3. 8. 3	役員研修会 ・社会福祉協議会の成り立ちとこれから ・組織と役員の役割	講堂	30 名
8.24	社協のあゆみ	講堂	43 名
9.21	権利擁護の取り組みについて 講師：とよの権利擁護センターとも職員 2 名	講堂	29 名
10.26	マネージャー・リーダー研修 講師：中垣内 吉信氏（元評議員）	会議室	12 名

11.24 25	箕面市地域福祉活動計画について	講堂	34 名
12.21	認定就労訓練事業について	地域支援室	14 名
4. 1.25	広報「人を動かすチラシの創り方」 講師：中島 PR　中島 史朗 氏	講堂	22 名
3.11	職員衛生委員会　交通安全講習会 講師：JAF　大阪支部　廣瀬 隆一氏	講堂	31 名

６．箕面市社会福祉法人連絡会

箕面市内にある１９の社会福祉法人２１事業所が会員となり、社協が事務局を担っている。社会福祉法人同士の連絡調整、交流や研修、地域貢献事業への協力等を目的に活動をしているが、新型コロナウイルスの感染拡大によりオンライン中心の研修のみの実施となった。

（1）総会

年月日	テーマ	会場	回答
3. 5.31	令和 2 年度事業報告・決算報告 令和 3 年度事業計画・予算の承認	書面審議	19 法人 21 事業所

（2）研修会

年月日	テーマ	会場	参加者
3. 8.20	「新型コロナウイルス感染症への対応策」 講師：箕面市立病院　感染制御部 四宮 聡 氏（看護師）	会議室	18 法人 47 名 （オンライン 43 名）
11.15	「吹田市施設連絡会の取り組み」 講師：吹田市施設連絡会会長 武内 慎吾 氏 事務局 山本 浩世 氏	会議室	10 法人 12 名 （オンライン 11 名）

７．検体採取場の受付・場内整理業務

令和３年１月に箕面市が開設したＰＣＲ検査を行う検体採取場の受付・場内整理業務について、生活困窮者の雇用創出として受託した。仕事が見つからず困窮状態の相談者を雇用することで、生活の再建につなげた。感染がおさまらない状況となったため、１年間を通しての実施となった。

開設期間	従事者数	種別	雇用者数
3. 4. 1～ 4. 3.31 週 6 日(月～土)	1 日 3 名	受付案内員　1 名 敷地内誘導員 2 名	24 名

地域福祉活動推進事業

（１）小地域ネットワーク活動

①個別援助活動

一声訪問員や地区福祉会ボランティアにより、高齢者等への定期的な声かけ見守り活動を行い、地域によっては見舞品などを配布して友愛訪問等を行った。令和３年度も令和２年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、電話や玄関先でインターホンによる安否確認、マスク着用や対面時における十分な間隔の確保など、感染予防対策を講じたうえで訪問を実施した。

・一声訪問事業

民生委員・児童委員を通じて訪問を希望したひとり暮らしの高齢者等を、一声訪問員が月１回程度定期的に訪問もしくは電話での声かけをし、見守り活動を実践している。

【各地区の一声訪問員設置状況】　（単位：名）

地区	訪問員数		対象者数		地区	訪問員数		対象者数	
	3年度	2年度	3年度	2年度		3年度	2年度	3年度	2年度
豊 川 北	11	10	86	81	中	8	9	14	16
東	10	10	24	30	箕　面	－	－	－	－
豊 川 南	3	3	7	14	西	－	－	－	－
萱 野 東	3	4	5	9	南	4	4	5	7
萱 野 北	7	8	23	23	西　南	4	6	25	26
萱　野	8	8	9	16	止々呂美	－	－	－	－
北	9	9	9	15	合計	67	71	207	237

※箕面、西、止々呂美小地区は、一声訪問員を設置していない。

※訪問員数及び対象者数は年度当初の実績を記載。

【一声訪問員研修】

任期満了に伴い地区福祉会から推薦があった一声訪問員６７名（内新任７名）に委嘱及び研修を行った。感染対策として午前と午後に分けて開催した。

（単位：名）

年月日	時間	内容	会場	出席者
3. 4. 5	① 午前の部 10:00～11:30	・委嘱 ・一声訪問事業概要説明・質疑応答 ・先輩一声訪問員インタビュー	講堂	18
	② 午後の部 13:30～15:00	午前の部と同内容	講堂	28

・友愛訪問

例年実施している活動に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できないサロンの代わりに友愛訪問を行い、つながりを絶やさないよう実践した地区もあった。

【各地区の友愛訪問実施状況】　（単位：名）

地区	活動概要	のべ対象者数	回数	のべ活動者数
豊川南	寒中見舞い	6	1	3
萱野東	白島地区での高齢者個別訪問	92	3	10
萱野	かやのふれあい訪問、サロン利用者への訪問	2,768	13	433
北	チラシ配布	1,066	2	65
箕面	お元気ですか（暑中見舞い）、花鉢配布、寒中見舞い、ぜんざい・ひなあられ配布、他2回	1,386	6	284
西	いつまでもお元気でプレゼント（昆布と困りごと相談先マグネットとシールのお届け）	865	1	136
南	お菓子や年賀状のお届け	610	2	32
西南	暑中見舞い、寒中見舞い（お菓子メッセージカードのお届け）	392	2	33
止々呂美	暑中見舞い、寒中見舞い、長寿祝い（お茶菓子のお届け）	176	2	32
	合計	7,361	32	1,028

（前年度　7,655名、34回、971名）

②グループ援助活動

地区福祉会ボランティアにより、高齢者や子育て世代等を対象に、孤立予防や交流の場としてサロン等を開催した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、一部活動において中止もしくは方法や内容を変更して実施した。

（上段：令和３年度　　下段：令和２年度）

地区	ふれあいいきいきサロン（高齢者）			子育てサロン			高齢者食事会	世代間交流
	開催場所	回数	のべ参加者数	開催場所	回数	のべ参加者数	回数	回数
豊川北	11	31	518	1	1	26	－	22
	11	57	531	1	5	51	－	－
東	6	14	137	1	3	37	－	1
	8	10	112	1	3	31	－	－
豊川南	6	29	309	2	4	81	－	1
	2	5	50	2	5	105	－	－
萱野東	6	71	674	1	1	49	－	－
	3	51	634	1	2	18	－	－
萱野北	3	8	10	－	－	－	－	1
	－	－	－	－	－	－	－	－
萱野	8	52	428	－	－	－	－	1
	10	49	349	－	－	－	－	－
北	－	－	－	－	－	－	－	1
	－	－	－	－	－	－	－	－
中	2	30	315	1	4	34	－	－
	1	32	315	1	7	64	－	－
箕面	3	5	108	1	2	16	－	－
	2	3	64	－	－	－	－	－
西	7	23	139	1	4	39	－	－
	6	81	502	－	－	－	－	－
南	7	72	608	－	－	－	2	－
	7	58	548	－	－	－	－	－
西南	2	9	264	－	－	－	－	－
	1	1	13	－	－	－	－	－
止々呂美	－	－	－	－	－	－	1	1
	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	61	344	3,510	8	19	282	3	28
	51	347	3,118	6	22	269	－	－

※豊川北小地区福祉会の高齢者サロンのうち２か所は、彩都の丘小校区で実施。

③チャレンジ補助金の交付

例年、地区福祉会が実施する小地域ネットワーク活動のうち、新規または拡大する取り組みに対し、補助金を交付している。令和３年度は、申請した地区福祉会がなかった。

（２）地区敬老事業

萱野北小地区と萱野小地区は、合同敬老会開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため中止した。また、他の地区も地区敬老会開催の方向で検討していたが、状況を鑑み、記念品配布による「高齢者見守りつながり推進事業」を実施した。対象者は７５歳以上の全ての高齢者。

【地区敬老事業実施状況】　（単位：名）

対象者：9 月 1 日時点で 75 歳以上の高齢者

地区	実施期間	記念品	対象者数	従事者数
豊川北	9 月上旬～下旬	水だけで磨ける歯ブラシ、小学生からのお祝いメッセージ	1,581	90
東	9 月中旬～10 月上旬	キャップオープナー、ミニタオル	1,843	150
豊川南	10 月 2 日～3 日	泉州タオル 2 枚セット	1,178	23
萱野東	9 月上旬～下旬	黄色いタオルとふりかけ	1,638	22
萱野北	合同開催を企画していたが中止（対象者には、開催案内時にタオルを配布）		895	20
萱野			1,490	49
北	9 月 9 日～10 月 6 日	タオル、フリーズドライ味噌汁	1,066	60
中	9 月上旬～下旬	バスタオル	1,437	23
箕面	9 月中旬～下旬	フリーズドライ味噌汁	1,536	72
西	9 月中旬～下旬	佃煮昆布	2,171	136
南	9 月 7 日～16 日	フリーズドライ味噌汁 5 種	1,603	39
西南	9 月 16 日～20 日	お薬手帳ケース、ガーゼハンカチ	1,842	29
止々呂美	9 月 5 日～25 日	マルチケース	159	30
合計			18,439	743

（３）おせち料理配食事業

７５歳以上のひとり暮らしのかた、８０歳以上の高齢者世帯、障害者のみの世帯、障害者と７５歳以上の高齢者の世帯等に、地区福祉会または民生委員･児童委員を通じておせち料理の配食をし、社会的に孤立しがちな年末に見守りを実施した。

おせち料理には、祝い箸と学童保育児童による手作りのお手紙を添えて配布した。

【地区別おせち料理利用者内訳】 （単位:名）

地区	独居高齢者	高齢者世帯	障害者世帯	障害者高齢者世帯	その他	令和３年度合計	令和２年度合計
豊川北	15	8	－	－	－	23	30
東	24	16	－	1	－	41	43
豊川南	6	2	－	－	－	8	12
萱野東	15	2	－	－	－	17	18
萱野北	15	1	－	3	－	19	19
萱野	16	3	3	－	－	22	19
北	10	2	－	2	－	14	14
中	15	1	4	－	－	20	25
箕面	29	4	7	－	1	41	39
西	37	12	3	2	3	57	63
南	17	6	2	－	1	26	30
西南	46	6	1	－	1	54	60
止々呂美	－	1	－	－	－	1	－
合計	245	64	20	8	6	343	372

（４）地区福祉会会長会

社協事業の効果的な実施及び地区福祉会活動にかかる諸問題の解決と情報共有を図ることを目的に、地区福祉会会長会を開催した。令和２年度は緊急事態宣言下で中止したこともあったが、今年度はオンラインも併用して開催した。

（定数：１３名）開催状況：５回　（前年度　４回）

年月日	主な議題	会場	出席者
3. 5.15	新型コロナ禍での地区福祉会活動について（情報交換） ウィズコロナの取り組み（ICTの活用）について（意見交換） 第3期箕面市地域福祉活動計画について	オンライン	13
7.17	新型コロナ禍での地区福祉会活動について（情報交換） 社協活動協力金について おせち料理配食事業について	講堂	13 （オンライン5）
11.20	各地区の敬老事業について（情報交換） 一声訪問事業について 地区福祉会交付金について 社協活動協力金について 事業説明「生活困窮者自立支援事業について」	講堂	13
4. 1.15	おせち料理配食事業について 第3期箕面市地域福祉活動計画について 令和4年度箕面市社会福祉協議会事業計画について 社協活動協力金について	講堂	13 （オンライン1）
3.12	令和4年度当初予算(案)及び年間スケジュールについて 顔の見える総合相談・支援事業について 社協活動協力金について	講堂	13 （オンライン1）

（５）地区担当職員の取り組み（ささえあいステーションエリア外地区）

ささえあいステーションエリア外の地区（彩都の丘、東、西、南、西南、止々呂美）の担当職員もささえあいステーション職員と同様に住民からの相談対応及び地域アセスメントを行った。

①個別の地域生活支援

制度では解決しにくい問題やどこに相談していいかわからない内容について、民生委員・児童委員や関係機関、住民からの相談を受けた。内容に応じて専門機関へのつなぎや課題解決に向けての取り組みに積極的に関わった。

相談者の校区	今年度相談件数																									
		相談経路				相談内容																				
						地域								個人												
							相談分類		対応終了						相談分類							対応終了				
		来所	電話	メール・はがき	訪問・出張		活動全般	地域の困りごと	つなぎ・情報提供	取り組み支援	シーズ	包括対応	対応中		高齢	障害	子ども	外国人	生活困窮	医療・保健	生活上の相談	つなぎ・情報提供	取り組み支援	シーズ	包括対応	対応中
彩都の丘	6	0	5	0	1	2	2	0	1	0	0	0	1	4	0	0	1	0	0	0	3	4	0	0	0	0
東	22	2	14	1	5	12	12	0	11	0	1	0	0	10	3	0	2	0	3	0	2	9	0	0	0	1
西	29	4	13	3	9	8	8	0	4	1	2	0	1	21	11	3	0	0	0	0	7	20	0	0	0	1
南	21	3	15	1	2	8	7	1	8	0	0	0	0	13	9	0	0	0	0	0	4	13	0	0	0	0
西南	9	2	4	1	2	4	4	0	2	0	2	0	0	5	2	0	0	0	1	0	2	5	0	0	0	0
止々呂美	4	0	4	0	0	4	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市外,不明	35	4	26	2	3	21	20	1	14	1	5	0	1	14	7	1	0	0	2	0	4	14	0	0	0	0
合計	126	15	81	8	22	59	57	2	44	2	10	0	3	67	32	4	3	0	6	0	22	65	0	0	0	2

②地域アセスメント（地域のボランティア活動等の把握）

校区内に存在する様々な団体を訪問し、地域活動の把握及び顔の見える関係づくりを進めた。地域アセスメントを通して得た情報をもとに、地域特性、人口等の基礎情報や地域団体等の情報をまとめた地域情報シートを校区ごとに作成した。

【アセスメント実施状況】

	対象数		
		実施	実施不可
教育・保育施設	14	14	0
公的な団体	1	1	0
地域団体	65	47	18
自治会	133	85	48
マンション管理組合	31	10	21
住民の集いの場	38	29	9
NPO法人	4	4	0
生活関連事業者	60	58	2
不動産会社	7	5	2
寺社・教会	13	10	3
合計	366	263	103

※「実施不可」は、訪問の拒否や連絡がつかずに手紙ポスティング（投函）のみで終了しているもの

【校区別実施状況】

	彩都			東			西		
	対象数			対象数			対象数		
		実施	実施不可		実施	実施不可		実施	実施不可
教育・保育施設	2	2	0	3	3	0	4	4	0
公的な団体									
地域団体	8	8	0	12	10	2	14	12	2
自治会	8	8	0	23	16	7	39	26	13
マンション管理組合	3	1	2	3	3	0	11	3	8
住民の集いの場	3	3	0	9	9	0	14	5	9
NPO法人				1	1	0			
生活関連事業者				20	20	0	14	14	0
不動産会社				1	1	0	1	1	0
寺社・教会				1	1	0	7	6	1
合計	24	22	2	73	64	9	104	71	33

	南			西南			止々呂美		
	対象数			対象数			対象数		
		実施	実施不可		実施	実施不可		実施	実施不可
教育・保育施設	1	1	0	2	2	0	2	2	0
公的な団体				1	1				
地域団体	11	8	3	11	3	8	9	6	3
自治会	33	20	13	26	11	15	4	4	0
マンション管理組合	4	0	4	10	3	7			
住民の集いの場	8	8	0	3	3	0	1	1	0
NPO法人	2	2	0				1	1	0
生活関連事業者	13	11	2	8	8	0	5	5	0
不動産会社	3	3	0	2	0	2			
寺社・教会				3	2	1	2	1	1
合計	75	53	22	66	33	33	24	20	4

（６）地域福祉活動拠点利用状況一覧

新型コロナウイルス感染症対策をしながら地域福祉活動拠点を利用し活動した。令和２年度に比べ、回数、人数ともに増加した。

拠点名	利用内容	合計		拠点名	利用内容	合計	
		回数	のべ人数			回数	のべ人数
さくらルーム みなみ（南小） H14 開所	会議・打ち合わせ	71	533	サンプラルーム 北（北小） H18 開所	会議・打ち合わせ	71	266
	サロン等	52	513		サロン等	－	－
	その他	58	169		その他	25	70
	合計	181	1,215		合計	96	336

あっとほーむ WAO (豊川北小) H14 開所	会議・打ち合わせ	23	240	萱野東れんげルーム (萱野東小) H20 開所	会議・打ち合わせ	34	494
	サロン等	－	－		サロン等	－	－
	その他	28	172		その他	51	100
	合計	51	412		合計	85	594
ほっとルーム せいなん (西南小) H14 開所	会議・打ち合わせ	36	199	あいあいルーム とよみな (豊川南小) H25 開所	会議・打ち合わせ	28	258
	サロン等	3	32		サロン等	48	613
	その他	27	92		その他	8	43
	合計	66	323		合計	84	914
日時計ルーム みのお (箕面小) H15 開所	会議・打ち合わせ	51	446	かや北 福祉サロン (萱野北小) H22 開所	会議・打ち合わせ	30	242
	サロン等	－	－		サロン等	67	270
	その他	44	70		その他	49	138
	合計	95	516		合計	146	650
ひがしふれあいルーム（東小） H15 開所	会議・打ち合わせ	148	873	止々呂美 ふれあいルーム (止々呂美小) H23 開所	会議・打ち合わせ	33	285
	サロン等	43	282		サロン等	－	－
	その他	108	231		その他	1	4
	合計	299	1,386		合計	34	289
星座ルーム西 (西小) H16 開所	会議・打ち合わせ	80	538	かやのプラザ (萱野小) H25 開所	会議・打ち合わせ	51	415
	サロン等	5	44		サロン等	4	57
	その他	35	134		その他	28	84
	合計	120	716		合計	83	556
なかよしルーム なか（中小） H16 開所	会議・打ち合わせ	19	229	合計	会議・打ち合わせ	687	4,953
	サロン等	8	109		サロン等	230	1,920
	その他	30	118		その他	468	1,425
	合計	57	456		計	1,385	8,298

（前年度実績合計　回数 1,200　人数 7,160）

利用団体：　地区福祉会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ、青少年を守る会、青少年指導員、更生保護女性会、こども会、ＰＴＡ、自治会、防犯委員会、地区防災委員会、コミュニティスポーツクラブ、ボーイスカウト、おやじの会等

（7）みのお見守り支援システム『よりそい隊』

市内で活動している事業所や商店に見守り活動の協力を得る仕組みとして実施している。登録事業所は普段の業務において何か異変を発見した時に社協へ連絡し、社協は連絡を受けて関係機関への連絡・確認・調整等の対応を行っている。

令和３年度は、見守りに関する情報や地域の福祉活動を市民に啓発することを目的に設置している「見守り情報ラック」に、定期的に発行物を届けた。また、登録事業者向けに研修会を行った。

【登録事業所数（地区別）】

地区	3 年度	2 年度
彩都の丘	－	－
豊川北	10	9
東	24	24
豊川南	27	28
萱野東	35	33
萱野北	8	5
萱野	25	22
北	49	45
中	23	21
箕面	21	19
西	19	16
南	25	26
西南	8	8
止々呂美	4	4
市外	20	19
総計	298	279

【登録事業所数（業種別）】

業種区分	3 年度	2 年度
公共事業	13	13
金融・不動産・建設業	22	14
小売業	63	60
医療・福祉業	117	116
配達・宅配業	17	19
飲食業	40	38
サービス業	13	12
製造業	1	1
その他事業	4	4
施設管理	1	1
寺社・教会	7	1
総計	298	279

【見守り情報ラック設置事業所数】

設置事業所数	3 年度	2 年度
	125	119

【通報･相談件数】

相談区分	3 年度	2 年度
認知症相談	2	5
精神疾患相談	1	1
安否確認	7	2
生活困窮	1	－
生活相談	2	1
総計	13	9

【研修】

年月日	内容	講師	会場	出席者
3. 9. 17	「箕面市における生活困窮者の実態と支援」	生活困窮者自立支援事業担当職員	会議室	5 （オンライン 2）

（8）フードバンク事業

生活共同組合コープこうべ、大阪よどがわ市民生活協同組合、セブン－イレブン・ジャパン等の企業や市民などから寄贈があった食料品を生活困窮世帯や地域活動団体等に提供した。余剰食料品を必要な人に渡し再活用することで、食品ロスの削減にもつながっている。

〇利用実績

①生活困窮世帯（地区・年代別）　（単位：名）

地区	～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	年代不明	3年度合計	2年度合計
豊川北	4	4	1	2	3	2	－	－	16	33
東	－	3	3	3	－	1	－	－	10	13
豊川南	1	－	4	1	－	－	－	－	6	15
萱野東	1	2	2	3	1	2	－	－	11	6
萱野北	－	－	－	1	－	－	2	－	3	14
萱野	4	1	2	9	－	1	－	－	17	12
北	－	2	1	－	－	1	－	－	4	12
中	2	1	1	2	－	1	－	－	7	15
箕面	1	1	2	3	1	－	－	－	8	18
西	－	5	2	1	3	－	－	－	11	6
南	2	4	2	－	2	2	2	－	14	8
西南	－	1	1	1	1	1	－	－	5	11
止々呂美	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－
彩都の丘	－	1	1	－	－	－	－	－	2	－
住所不明	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
合計	15	25	23	26	11	11	4	－	115	165

②地域活動団体

提供先団体名	提供回数
公益財団法人　箕面市国際交流協会	11回
シルバーアドバイザー箕面・豊能	1回
みのお東・子ども食堂の会	7回
ちまちま工房	9回
箕面市コミュニティセンター東小会館「みどりの家」管理運営委員会	3回
合計	31回

③「フードパントリー」の開催

「コロナ禍で困っている世帯がいる」との声を受け、学生やひとり親世帯を対象に食料品を無償提供する「フードパントリー」を開催した。第１回は箕面ライオンズクラブと共催。

年月日	対象	会場	利用者数	
3. 11. 23	・箕面市在住の大学生・大学院生	講堂	38	115
	・箕面市在住のひとり親世帯		77	
4.　3. 13	・箕面市在住のひとり親世帯	講堂	73	
合計			188	

〇食料品の提供元

①食料品の寄贈（事業所、市民）

事業所名	受け取り回数
生活共同組合コープこうべ（ハート基金）	5 回
大阪よどがわ市民生活協同組合	4 回
セブン-イレブン・ジャパン	1 回
大阪北部農業協同組合	1 回
イートランド株式会社	1 回
豊川北小地区福祉会	2 回
市民（3 名）	3 回
合計	17 回

②「フードドライブ」の実施

家庭で余っている食料品の提供を呼びかける取り組み「フードドライブ」を、コープこうべの店舗にて実施した。集まった食料品はフードバンク及びフードパントリーで活用している。

実施店舗	受け取り回数
生活共同組合コープこうべ　箕面中央店	22 回
生活協同組合コープこうべ　ルミナス店	14 回
合計	36 回

（９）大阪府福祉基金「ウィズコロナ、ポストコロナに対応した地域活動モデルの開発」を活用した事業

新型コロナウイルスとの共存（ウィズコロナ）に加え、コロナ終息後（ポストコロナ）も見据えた府民の孤立や不安解消のための地域活動モデルを開発するための府の福祉基金を活用し、地域福祉活動拠点へＩＣＴ機器（タブレットと無線ルータ）の配備を行った。これにより、各地区でＩＣＴ機器を活用したオンライン会議や新たな取り組みが実施された。

年月日	内容	配備数	校区
3. 5. 1～ 4. 3.31	ICT 機器（タブレット・無線ルータ）の配備	13 台	13 校区 （彩都の丘小を除く）

○ＩＣＴ機器を活用した取り組み

①新型コロナウイルスワクチンの接種予約支援

「電話が繋がらない」「インターネット予約が難しい」という高齢者の声を受け、ＩＣＴ機器を活用して萱野小校区と北小校区で予約支援の取り組みが実施された。

年月日	校区	実施者	会場	対象者数
3. 5.28～ 5.30	萱野	地区福祉会、自治会、NPO 法人	5	54
3. 6.9	北	地区福祉会、民生委員・児童委員	1	10
4. 2.17	萱野	地区福祉会、自治会、NPO 法人	4	14

②オンライン子育てサロン

新型コロナウイルス感染拡大により従来型の子育てサロンの開催が難しい中、子育て世帯の孤立を防止するため、豊川南小校区でオンライン子育てサロンが開催された。

年月日	校区	参加数
3. 9.17	豊川南	6 組

（１０）第３期箕面市地域福祉活動計画策定に向けた取り組み

令和２年度内に策定予定だった第３期箕面市地域福祉活動計画は、新型コロナウイルス感染拡大によって全小学校区での校区別地域検討会が開催できず、策定を延期していた。令和３年度は、検討会未実施の校区に対しアンケートを実施し、さらにテーマ別検討会も開催して計画を策定した。

①第３期地域福祉活動計画策定委員会

計画策定にあたり、地区福祉会等地域団体や当事者組織、ＮＰＯ、社会福祉事業所、行政、学識経験者等様々な分野が参画する委員会で策定方法の検討や進捗確認を行った。

（定数：１１名）開催状況：２回

年月日	主な議題	会場	出席者
3. 9.17	テーマ別検討会の報告 第３期箕面市地域福祉活動計画（案） 今後のスケジュール	講堂	11 （オンライン4）
10.29	第２期箕面市地域福祉計画策定の進捗状況 第３期箕面市地域福祉活動計画（最終案） 地域福祉活動推進委員会について	講堂	10

②校区別アンケート

令和２年度に新型コロナウイルス感染拡大により校区別地域検討会を開催できなかった校区（７校区）に対して、アンケートによる意見集約を行った。

年月日	校区	回答者数
3. 4.21～ 5.14	彩都の丘	11
	豊川北	19
	箕面	25
	西	14
3. 5. 9～ 5.24	南	14
	西南	16
	止々呂美	10

※アンケート送付先は令和２年度の校区別地域検討会の参加予定者

③テーマ別検討会

第２期箕面市地域福祉計画と第３期箕面市地域福祉活動計画がより連動したものとなることを目的として、箕面市と箕面市社会福祉協議会の職員によるワーキングチームを結成し、テーマ別検討会の企画を行った。テーマ別検討会は、「親会議」と「部会１」「部会２」を開催し、箕面市における包括的な相談支援体制について検討した。話し合いを踏まえ、箕面市における「総合相談支援システム」イメージ図を描いた。

○市・社協職員合同ワーキング

開催状況：３回　のべ５０名

年月日	主な議題	会場	出席者
3. 4.23	趣旨説明 策定スケジュールの確認、今後のスケジュール	講堂	18
5.25	第1期箕面市地域福祉計画、第2期箕面市地域福祉活動計画の振り返り テーマ別検討会の企画	講堂	16
6.17	テーマ別検討会「親会議」報告 テーマ別検討会「部会」「部会1」「部会2」について	講堂	16

○テーマ別検討会

開催状況：５回　のべ１２８名

テーマ	年月日	主な議題		会場	出席者
【親会議】 第1回	3. 6.11	本市における相談支援体制の現状や課題について意見集約 部会のテーマや内容、参加依頼先の検討		講堂	25
【部会1】 「相談支援におけるチームアプローチ」	6.29	複雑・複合的で解決が難しい事例を検討していく中から、チームアプローチのあり方について相談支援機関で検討	高齢者やひきこもりの2事例をもとに検討	講堂	28
	7. 9		子どもや青年、その家族の支援が必要な2事例をもとに検討	講堂	21
【部会2】 「困っている人をどうキャッチするか」	7.16	相談支援機関の周知方法、支援者の動き、窓口のあり方、困っている人からの発信をどう引き出すかなど、多面的に検討		講堂	28
【親会議】 第2回	8. 6	部会での検討結果の共有及び整理 箕面版包括的な支援体制の構築に向けて検討		講堂	26

（１１）ボランティアセンター活動推進事業

①ボランティア相談、登録の状況

相談件数

ボランティア活動をしたい、ボランティアの応援がほしいなどの相談は計６９件だった。ボランティアをしたい相談のなかには、軽度障害のある人、虐待のおそれのある家庭、不登校の子どもなど福祉的配慮の必要な人も数人いた。また、学校や会社の課題としてボランティア活動に参加する人もいた。

内容	相談経路	件数	特記事項（内訳等）
ボランティアしたい		32	
	本人	29	学生（中学～大学生）9、20～50 代 6、60 代 6、70 代 6、不明 7
	家族	1	
	ボランティアグループ	1	
	事業所	1	
ボランティアにきてほしい		22	
	公共施設	9	学校 6、こども園 1、他市ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ 2
	医療・介護事業所	11	ケアマネ 5、高齢者施設 3、障害者施設 3
	ボランティアグループ	1	
	個人	1	
その他		15	
	活用してほしい	7	手作りおもちゃ、鍋、食料品の寄贈など
	グループ活動支援	8	助成金情報、団体の困りごとなど

ボランティア登録者数

登録区分		令和 3 年度		令和 2 年度	
個人登録（単位：名）	前年度から更新	35	54	35	40
	新規登録	19		5	
グループ登録（単位：団体）	前年度から更新	47	50	45	51
	新規登録	3		6	

ボランティア受給調整件数（月別）

分類	在宅高齢者（介護服作成等）	障害者（点訳・音訳等）	福祉施設継続活動（レク指導・整容等）	イベント協力（設営・撤収等）	ちょっとボランティア	ステージ出演（歌・演奏等）	学校授業協力（指導・講演等）	地域サロン送迎（運転）	その他（児童の一時保育等）	中止	合計
4月								2 2			2 － 2 0
5月											0 － 0 0
6月		2 (2)						2 2			4 － 2 2
7月								3 3			3 － 3 0
8月								1 1			1 － 1 0
9月	1 (1)	1 (1)	1 (1)				1 1 (6)		1 (1)		5 － 1 10
10月	1 (1)						3 2 (1)	3 3			7 － 5 2
11月							20 11 (12)	5 5	1 (1)		26 － 16 13
12月							11 2 (8)	5 5		1	17 － 7 8
1月								4 4		8	12 － 4 0
2月		1 (1)						4 4		6	11 － 4 1
3月							2 (2)	4 4			6 － 4 2
合計	2 0 (2)	4 0 (4)	1 0 (1)	0 0 (0)	0 0 (0)	0 0 (0)	37 16 (29)	33 33 (0)	2 0 (2)	15	94 － 49 38

（令和2年度合計 48件、131名、32グループ）

見方表
調整件数 － ボランティア人数 （グループ数）

運転ボランティア調整の状況

サロン数	のべ利用回数	のべ利用者数
6 サロン	33 回	73 名

②ボランティア活動総合補償制度加入状況

（単位：名）

保険名	保険内容・内訳	令和３年度	令和２年度	前年比
ボランティア活動保険	A プラン（300 円）	1,287	1,586	△299
	B プラン（500 円）	1,858	1,788	70
	C プラン（600 円）	158	173	△15
	合計	3,303	3,547	△244

ボランティア・市民活動行事保険	Ⅰ型A（30円）	10,437	5,639	4,798
	Ⅰ型B（134円）	85	0	85
	Ⅰ型C（262円）	0	0	0
	Ⅱ型（229～358円）	63	0	0
	Ⅲ型（30円）	95	280	△185
	合計	10,680	5,919	4,761
非営利・有償活動団体保険	Aプラン（4,900円）	50	48	2
	Bプラン（6,300円）	2	0	2
移送中事故傷害保険	（2,000円）	4	4	0

（令和３年４月１日～令和４年３月３１日受付分）

③ボランティア活動の周知・広報

新型コロナウイルス感染拡大の影響でボランティア団体の活動休止や福祉施設等のボランティア受け入れ休止が相次いだため、「ボランティア募集情報」や「みのおボラメール」の発行は見合わせた。

④ボランティアの育成

要約筆記講習会

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、１回目については会場参加とオンライン参加の併用形式で開催した。また、市職員研修も兼ねた。（令和２年度：中止）

※市障害福祉室、箕面要約筆記サークル「もみじ」、障害者福祉センターささゆり園と共催で開催。

年月日	内容	講師等	会場	参加者
3.10.13	聴覚障害とその支援	箕面難聴者サークル「木かげ」 谷口　学　氏 箕面要約筆記サークル「もみじ」	障害者福祉センターささゆり園	18（オンライン8）
10.20	手書き要約筆記体験	箕面要約筆記サークル「もみじ」		9
10.27	パソコン要約筆記体験			4

⑤児童・生徒のボランティア活動推進事業

市内各校で福祉学習が実施されており、学校の希望に添うボランティアの調整に努めた。

○市内小学校　９校、１７回、１７テーマ（令和２年度：８校、１５回、２７テーマ）

回	年月日	対象	内容	講師等
1	3. 9.21	箕面小学校 4年生　85名	車いす利用者の話	車いす利用者
2	10. 6	箕面小学校 4年生　85名	視覚障害者の話・点字体験	視覚障害者
3	10.12	箕面小学校 4年生　85名	白杖体験	綜合メディカル株式会社
4	10.14	萱野小学校 4年生　112名	視覚障害者の話・点字体験	視覚障害者
5	11.11	豊川南小学校 4年生　161名	白杖体験	綜合メディカル株式会社
6	11.15	萱野小学校 4年生　112名	ボランティアの話	社会福祉協議会職員、 地域ボランティア
7	11.16	豊川南小学校 4年生　161名	視覚障害者の話	視覚障害者
8	11.16	止々呂美小学校 4年生　120名	白杖体験	綜合メディカル株式会社
9	11.19	萱野北小学校 4年生　38名	風船バレー体験	ぐるり
10	11.22	豊川南小学校 4年生　161名	子育ての話	みのおママの学校
11	11.24	彩都の丘小学校 4年生　198名	風船バレー体験	ぐるり
12	11.24	萱野小学校 4年生　112名	高齢者疑似体験	ナルク箕面
13	11.26	萱野小学校 4年生　112名	車いすの操作	特別養護老人ホーム白島荘
14	11.26	西小学校 3年生　154名	ボランティアの話	社会福祉協議会職員、 地域ボランティア
15	12. 1	彩都の丘小学校 4年生　198名	白杖体験	綜合メディカル株式会社
16	12.15	南小学校 4年生	車いすの操作	特別養護老人ホーム 箕面の郷
17	4. 3.22	萱野東小学校 4年生118名	車いすの操作	特別養護老人ホーム白島荘
－	中止	南小学校 4年生　91名	白杖体験	綜合メディカル株式会社
－	中止	南小学校 4年生　91名	高齢者疑似体験	ナルク箕面
－	中止	萱野東小学校 4年生118名	高齢者疑似体験	ナルク箕面

○市内中学校　４校、６回、２０テーマ（令和２年度：５校、６回、１５テーマ）

回	年月日	対象	内容	講師等
1	3.10.25	第五中学校 先生　10名	ボランティアの話	社会福祉協議会職員
2	11. 4	第二中学校 1年生　131名	視覚障害者の話、車いす生活者の話、ボランティアの話	視覚障害者、車いす利用者、社会福祉協議会職員、地域ボランティア
3	11. 8	第二中学校 1年生　131名	点字体験、白杖体験、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座、子育ての話・妊婦体験、車いす操作	視覚障害者、綜合メディカル株式会社、ナルク箕面、箕面市地域包括ケア室、みのおママの学校、特別養護老人ホーム箕面の郷
4	12.13	第六中学校 1年生　161名	視覚障害者の話、点字体験、認知症サポーター養成講座、車いすの操作	視覚障害者、箕面市地域包括ケア室、特別養護老人ホーム白島荘
5	12. 2	第五中学校 1年生　162名	視覚障害者の話・点字体験、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座、子育ての話・妊婦体験、要約筆記体験	視覚障害者、ナルク箕面、箕面市地域包括ケア室、みのおママの学校、箕面要約筆記サークル「もみじ」
6	4. 3.14	彩都の丘中学校 1年生　131名	白杖体験	綜合メディカル株式会社
－	中止	第一中学校 1年生　229名	視覚障害者の話・点字体験、白杖体験、認知症サポーター養成講座、子育ての話・妊婦体験、車いすの操作、要約筆記体験	視覚障害者、綜合メディカル株式会社、箕面市地域包括ケア室、みのおママの学校、ぐるり、箕面要約筆記サークル「もみじ」
－	中止	第三中学校 1年生　193名	視覚障害者の話・点字体験、白杖体験、認知症サポーター養成講座、風船バレー、要約筆記体験	視覚障害者、綜合メディカル株式会社、箕面市地域包括ケア室、ぐるり、箕面要約筆記サークル「もみじ」

○市内大学、高等学校　１校、１回、１テーマ（令和２年度：コロナで中止）

回	年月日	対象	内容	講師等
1	3. 6.22	大阪青山大学	ボランティアの話	社会福祉協議会職員、 地域ボランティア、 ひよこちゃん一座

⑥もっとネット会議（中間支援組織スタッフ会議）

箕面市内のボランティア・市民活動の活性化とそのための問題・課題解決を模索する場として、市内の中間支援組織で情報の共有及び共通の課題について検討を行った。

【構成団体】

（特非）市民活動フォーラムみのお、（公財）箕面市国際交流協会

（社福）箕面市社会福祉協議会ボランティアセンター、（特非）みのお山麓保全委員会

（公財）箕面市メイプル文化財団、みのおＦＭまちそだて（株）

開催状況（３回）

年月日	主な議題	会場	出席者
3. 6.30	各団体の事業紹介、令和3年度事業計画について	中央生涯学習センター	7
9.29	各団体の事業紹介	中央生涯学習センター	7
4. 1.26	各団体の事業紹介	会議室	6

⑦箕面災害支援ネットワーク会議

平成３０年６月１８日に発生した大阪北部地震の経験から、より大規模な災害に対する備えとして、多様な団体の協力による災害ボランティアセンターの運営のため、箕面災害支援ネットワーク会議を新たに立ち上げた。

企画は、市民活動フォーラムみのお、箕面青年会議所、箕面市社協ボランティアグループ連絡会、箕面市社会福祉協議会の４者共催で実施した。

年月日	内容	会場	出席者
3. 7.31	第１回 災害ボランティアセンターについて 意見交換（協力できること、不明な点、疑問点等）	市民活動センター多目的室	16 団体 27 名
4. 3.19	第２回 災害ボランティアセンター設置訓練	市民活動センター会議室、フレキシブルコーナー	10 団体 20 名

（１２）講師の派遣

年月日	名称・テーマ	主催
3. 5.27	社会福祉関係機関と金融機関の連携強化に関する意見交換会 「みのお見守り支援システムよりそい隊について」	日本金融ジェロントロジー協会
11.8	防災士講座 「防災とボランティア活動」	箕面市市民安全政策室
4. 2.3	ヘルスメイト養成講座 「ボランティア活動について」	箕面市箕面産と食の推進室

（１３）研修への参加状況

年月日	名称・テーマ	主催	出席者
3. 6.30	個別避難計画研修会	内閣府（防災担当）	1
9. 1 2	いきがい・助け合いサミット in 神奈川	さわやか福祉財団	7
12.13	社会ソリューションイニシアティブ（SSI） シンポジウム「生と死と、命と～社会実装と社会実践～」	大阪大学 SSI 基幹 プロジェクト委員会	2
4. 1.24	生活支援コーディネーター養成研修	大阪ええまちプロジェクト	1
2. 7 14	支援者対象講座と交流会 「赤ちゃんを応援する人、集まれ！」	NPO 法人はんもっく	1
3. 9	災害ボランティアセンター運営支援者 情報交換会	大阪府社会福祉協議会	1

（１４）宣伝啓発活動

広報紙「社協だより」や社協ブログを活用し制度や活動の宣伝を行った。

①社協だより

社協活動を知ってもらい、地域福祉活動に参加してもらう住民を増やすことを目的に、全戸配布の広報紙として社協だよりを発行した。

○発行の形態　　Ａ４：８ページ　カラー刷り　年３回　１回あたり 65,500 部発行

＜主な掲載記事＞

ＮＯ	内容
第 154 号 (5/1 発行)	●特集「コロナ禍のなかでもつながり・支え合いの輪は広がっています」 ・令和 3 年度　事業計画 ・令和 3 年度　社協活動協力金について ・ささえあいステーション　モデル校区の活動レポート（萱野東小校区） ・ふれあいホームサービス、新型コロナウイルス感染症特例貸付 ・献血デーのご案内　など
第 155 号 (9/1 発行)	●特集「災害ボランティアセンターから見えた平常時からの関係づくり」 ・シリーズ「おひとりさまの達人にきく」 ・令和 2 年度　事業報告・決算報告、新役員紹介 ・ささえあいステーション　モデル校区の活動レポート（北・萱野・豊川南） ・箕面市地域支え合いプロジェクト助成金 ・令和 3 年度高齢者作品展　など

第 156 号 (2/1 発行)	●特集「地域共生社会シンポジウム開催」 ・シリーズ「おひとりさまの達人にきく」 ・令和 3 年度　共同募金結果報告 ・箕面市地域支え合いプロジェクト助成金報告 ・ささえあいステーション　モデル校区の活動レポート（北・豊川南） ・特別協力金協力事業所の紹介 ・フードパントリー実施報告、刑務所作業製品展示即売会の案内など

②ブログ・ツイッター

社協活動及び地区福祉会活動を、よりタイムリーに効果的に発信していく取り組みとして、ブログ及びツイッターを用いて情報発信を行った。

＜社協ブログ＞

コロナ禍で各種の活動が制限される中、新たな取り組みを中心に掲載を行った。

	令和 3 年度	令和 2 年度
記事掲載数	56 回	112 回

＜社協ツイッター＞

ブログやホームページの更新情報や大阪府や箕面市の新型コロナウイルス関連情報、災害情報などをツイッターで発信した。

	ツイート数	フォロワー数（年度末現在）	
令和 3 年度	571 回/年	＋177 名	計 1,480 名

（１５）相談案内・生理用品の配布（箕面市委託事業）

令和３年８月に箕面市から受託し、コロナ禍における困難、不安を抱える女性に寄り添った支援を行うため、生理用品の配布を通じて、生活相談窓口等の案内を行い、生理の貧困対策を兼ねた「生活相談へ繋ぐきっかけづくり」を行った。

①生理用品の無料配布

生理用ナプキン（昼用２０枚入り、夜用１５枚入り）と「女性のための相談窓口」案内リーフレット及びカードをセットにし、市内公共施設窓口にて配布。学校は少量パックを中心に配布した。

（公共施設配布セット）

（周知チラシ）

○配布先

配布場所	配布数	備考
公共機関	1,008	公共施設窓口：市内 10 か所
学校	2,938	市内公立小・中学校（22 校）、高等学校、大学での配布
地域イベント	784	ひとり親家庭を対象としたフードパントリーやコロナ禍での困窮世帯への食糧お届け時に配布
災害備蓄	912	19 か所
合計	5,642	

※配布数は昼用２０枚パック、夜用１５枚パック、昼用小量５枚パックの個数

②相談窓口案内

生理用品の配布をきっかけに相談につながったケースは、把握できている数としては２件だった。うち１件は、フードパントリー参加者が知り合いに窓口の紹介を行うことでつながった。

（１６）赤い羽根共同募金　箕面市地域支え合いプロジェクト助成金

令和３年度から新設した赤い羽根共同募金を財源とした「箕面市地域支え合いプロジェクト助成金」について、以下の４団体に助成した。

団体名	事業名	内容	助成金額
小金尾自治会	地域連携防災事業	自治会エリアの全住民に声をかけ、年２回、防災訓練を実施。	166,797 円
豊川北小 地区福祉会	～助け合いとぬくもりのある地域づくり～新型コロナで収入が減収した人へ地元のお米を届けようプロジェクト（第４弾）	コロナによる経済的困窮のかたに対し、地元のお米を届け、住民同士のつながりづくりと、生活相談窓口など相談機関へのつなぎを行う。	87,000 円
オレンジの会	こころカフェ	月１回、子育て中のママがホッとできる居場所の開催。年１回子育てに関する講演会を開催。	50,000 円
NPO 法人 はんもっく	赤ちゃんの親子支援者のための講座と連携作り～医療と保健福祉、公的支援と民間活動の連携を目指して～	0 歳児への関わりかたや親支援、母体ケア等について講座を開催し、公的ケアと民間（地域）支援者両者の学びの機会とする。	60,000 円

4	善意銀行事業サービス区分

善意銀行事業

この銀行は、広く市民の善意の金銭信託を受け、罹災世帯への見舞金、地区福祉会が行う新たな取り組みなどに払い出し、社会福祉の増進に寄与することを目的としている。

令和３年度は新型コロナウイルス感染症の影響により払い出しは１件のみとなった。

①預託及び払い出し状況　（単位：円）

年度	預託		払い出し	
	件数	金額	件数	金額
H29	38	939,497	22	1,443,514
H30	36	1,843,454	22	743,871
R1	28	518,854	13	704,742
R2	33	1,439,000	13	194,612
R3	33	564,000	1	151,920

②払出内容　（単位：円）

年月	件数	金額	内容
3.11.22	1	151,920	社会福祉協議会が主催するフードパントリーで使用する米の購入費用
合計	1	151,920	

③預託金積立状況（期末残高）　（単位：円）

2年度末残高	3年度積立金	3年度末残高
11,671,092	412,080	12,083,172

※３年度期末残高内訳：普通預金12,078,172円、貯蔵品5,000円（商品券の寄附）

ふれあいホームサービス事業

住民参加型の相互援助サービスとして、高齢者や障害者のいる世帯、産前産後の家庭、入院・入所中で家族の援助が受けられない人などを対象に支援を実施した。令和２年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のため約２か月活動を休止したが、今年度は、感染防止対策を実施しながら活動を継続した。

利用者の傾向として、高齢者だけでなく、精神疾患の親と障害のある子の援助やこだわりの強い人への支援など、福祉サービスでは担えない部分の支援も数件ではあるが対応しており、有償ボランティアとしてできる限りの対応をしている。

（１） 新規利用の状況

①新規利用者　（単位：名）

令和３年度	令和２年度	前年比
139	95	44

②新規利用者の利用内容内訳

	在宅	産前産後	子育て支援	施設(洗濯)	施設(他)	病院	合計
人数	93	8	3	34	0	1	139
比率	66.9%	5.7%	2.2%	24.5%	0%	0.7%	100%

③新規利用者の年齢別人数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	合計
人数	－	1	9	3	3	12	30	81	139
比率	－	0.7%	6.5%	2.2%	2.2%	8.6%	21.6%	58.2%	100%

（２） 協力会員の状況

①協力会員数（Ｒ４．３月末時点）　（単位：名）

令和３年度	令和２年度	前年比
225	207	18

＊令和３年度の新規協力会員は４２名

②協力会員の年齢別人数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	合計
人数	1	3	7	29	45	54	77	9	225
比率	0.5%	1.3%	3.1%	12.9%	20.0%	24.0%	34.2%	4.0%	100%

（３） ふれあいホームサービス月別利用状況

家事援助の利用割合が高く、人数・件数・時間ともに全体の５割以上を占めている。また、ワンコインサービスの利用が年々増加している。

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	令和3年度実績	令和2年度実績
家事援助	人数	83	64	73	76	71	78	80	87	89	86	85	84	956	890
	件数	310	237	275	312	269	394	421	393	382	361	331	357	4,042	3,189
	時間	430.0	337.0	395.5	416.5	371.5	504.5	517.0	485.5	505.5	425.5	408.5	443.5	5,240.5	4,284.0
見守り・話し相手	人数	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	0	1	9	0
	件数	0	0	0	0	0	16	20	9	7	6	0	16	74	0
	時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	10.0	4.5	3.5	3.5	0.0	16.0	45.5	0.0
外出の付添い	人数	2	0	1	1	1	1	2	1	3	1	2	1	16	22
	件数	3	0	1	1	1	1	3	1	4	2	2	2	21	43
	時間	5.0	0.0	2.0	1.0	4.5	1.5	3.5	0.5	4.0	1.0	2.5	1.0	26.5	53.5
産前産後	人数	3	4	5	5	3	4	3	3	3	3	2	3	41	27
	件数	16	14	17	24	10	17	27	20	24	19	18	25	231	121
	時間	27.0	22.0	33.0	41.5	19.5	27.0	39.0	23.0	30.0	22.0	21.5	28.0	333.5	207.0
子育て支援	人数	3	3	4	4	2	2	3	3	3	3	3	2	35	33
	件数	15	22	29	23	5	7	20	11	16	6	6	8	168	201
	時間	20.5	32.0	38.5	32.5	3.5	5.0	17.0	9.0	12.5	5.0	4.5	6.0	186.0	271.0
入院入所時の世話	人数	41	39	39	36	32	32	32	34	34	36	33	34	422	332
	件数	170	151	157	144	128	133	134	140	148	157	123	149	1,734	1,270
	時間	126.0	113.0	119.0	104.5	88.0	105.5	102.0	108.5	128.0	123.0	85.5	111.5	1,314.5	979.5
その他	人数	22	14	25	26	23	32	31	27	16	19	16	17	268	190
	件数	92	73	105	95	86	98	103	91	60	54	44	56	957	848
	時間	89.0	59.5	112.5	92.5	68.5	120.0	110.0	91.5	47.0	38.0	34.0	51.0	913.5	808.0
合計	人数	154	124	147	148	132	150	152	157	150	150	141	142	1,747	1,494
	件数	606	497	584	599	499	666	728	665	641	605	524	613	7,227	5,672
	時間	697.5	563.5	700.5	688.5	555.5	771.5	798.5	722.5	730.5	618.0	556.5	657.0	8060.0	6603.0

※「その他」の具体内容…ゴミ出し、庭関係（草抜き、落ち葉掃き等）、犬の散歩、生協注文、片付け、廃品出し、物の移動、衣替え、水やり、窓ふき、エアコンフィルター交換など

○ワンコインサービス（３０分以内利用）　令和３年度実績　2,355 回　1,177.5 時間

令和２年度実績　1,604 回　802 時間

サービス種別ごとの割合

	家事援助	見守り 話し相手	外出の 付添い	産前産後	子育て 支援	入院 入所時	その他
人数	956	9	16	41	35	422	268
比率	54.7%	0.5%	0.9%	2.3%	2.0%	24.2%	15.4%
時間	5240.5	45.5	26.5	333.5	186	1314.5	913.5
比率	65.0%	0.6%	0.3%	4.2%	2.3%	16.3%	11.3%

（４） 運営委員会（定数：９名） 開催状況 １回

年月日	内容	会場	出席者
4. 3.29	・ふれあいホームサービスの現状について ・ふれあいホームサービスの課題 事務手数料、福祉的課題を抱えるケースの援助について ・次年度の取り組み（案）	講堂	10

（５） 協力会員募集説明会

年月日	内容	会場	参加者	入会者
3.10.31	みのお NPO フェスタでの PR ブースの出展	かやのさんぺい橋	8	2

（６） 交流会の開催（協力会員対象）

年月日	内容	会場	参加者
3.10.8	情報交換「援助中に困ったこと等」	講堂	16

交流会の様子

（７） 広報活動

・リーフレット及び対象者別冊子の配布

・社協だよりへの記事掲載（５月、９月、２月）

・利用時間の目安を記載したチラシの作成と配布

日常生活自立支援事業（みのおまかせてねット）

認知症・知的障害・精神障害などで、意思判断能力に不安を感じている人が安心して生活を送れるように、また判断能力の低下が原因で福祉サービス利用において不利益が生じないように援助を行った。日常的金銭管理サービスでは日々の生活費の管理、付随する財産保全サービスでは金融機関の貸金庫を利用した保管を実施した。

（1） 契約件数

認知機能の低下に伴い成年後見制度へ移行する利用者が増え、新規利用者を解約者が上回った。

年度	認知	知的	精神	合計	新規	解約
3 年度	16	20	17	53	9	10
2 年度	18	18	18	54	13	6

※件数は年度末数値

（2） 支援実績（生活支援員活動件数）

既契約者に対する面談・電話・金融機関他での代理及び代行行為を支援としてカウントしたもの（利用料反映分）。

認知機能、精神状態の悪化から通帳等の返還を希望する利用者への対応、またそれに伴い現金受け渡しの頻度も増加し、支援実績が昨年度より増加している。

月	支援活動件数				2 年度	利用者数			
	認知	知的	精神	合計		認知	知的	精神	合計
4 月	67	54	47	168	173	19	18	18	55
5 月	66	54	46	166	101	19	18	18	55
6 月	63	51	46	160	173	20	18	18	56
7 月	52	60	49	161	144	20	20	18	58
8 月	50	67	50	167	126	21	20	17	58
9 月	75	69	57	201	131	19	20	17	56
10 月	50	66	57	173	160	20	20	18	58
11 月	46	71	54	171	139	20	20	17	57
12 月	61	85	64	210	155	16	20	17	53
1 月	47	91	64	202	134	16	20	16	52
2 月	51	75	60	186	151	17	20	17	54
3 月	49	89	65	203	173	16	20	17	53
合計	677	832	659	2, 168	1, 760	3 月末利用者数 53 人			

（３）相談援助件数

専門員の活動件数。契約前の訪問、事業問い合わせ対応、契約者への支援調整

月	相談・援助件数					契約準備件数 ※契約見込み人数	相談受付及び事業全般に関する問い合わせ
	認知	知的	精神	不明 その他	合計		
4 月	67	54	48	－	169	0	1
5 月	67	55	47	1	170	1	1
6 月	65	52	46	－	163	3	5
7 月	59	63	49	－	171	2	5
8 月	51	67	51	－	169	1	1
9 月	79	69	57	－	205	3	7
10 月	56	66	57	－	179	0	7
11 月	50	72	55	－	177	0	2
12 月	64	85	64	－	213	0	5
1 月	48	91	65	－	204	2	8
2 月	51	76	62	－	189	0	5
3 月	45	90	62	－	197	0	2
合計	702	840	663	1	2,206		49
2 年度	495	670	571	0	1,736		24

（４）市民向け啓発事業

リーガル・サポート大阪支部及び大阪司法書士会との共催で毎年実施している啓発事業は、新型コロナウイルスの感染拡大により、開催を見送った。

資金貸付事業

この事業は、大阪府社会福祉協議会を実施主体として、市町村社会福祉協議会が申請窓口の役割を担っている。一時的な理由で生活困窮している世帯に対し、自立支援を目的に貸付事業を行った。令和２年３月２５日から、新型コロナウイルスの影響により減収や失業した世帯に対し、新型コロナウイルス感染症特例（コロナ特例）が創設され、延長及び再貸付を含めて年間で申請を受け付けた。令和３年度からは、貸付だけでは解決できない問題に対応できるよう生活相談窓口があるライフプラザに受付窓口を変更し、一体的な相談体制をとった。

新型コロナウイルス感染症特例貸付は、令和２年度末から５回の受付期間延長（令和３年３月、８月、１１月、令和４年３月、６月）が行われ、断続的ではあるが利用はある。

（１）年度内新規貸付決定状況

＜新規貸付決定状況内訳表＞

年度 / 資金種別	令和3年度		令和2年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活福祉資金	19	6,571,000	8	5,857,000
教育支援資金	18	5,293,000	5	3,522,000
住宅改修費用	1	1,278,000	－	－
転宅資金	－	－	1	263,000
技能習得費	－	－	1	594,000
日常生活上一時的に必要な経費	－	－	1	1,478,000
総合支援資金	1	260,000	1	450,000
総合支援資金(コロナ特例　新規)	317	215,900,000	705	386,800,000
総合支援資金(コロナ特例　延長)※1	157	84,000,000	441	242,100,000
総合支援資金(コロナ特例　再貸付)※2	669	366,700,000	－	※申請のみ(未決定)
緊急小口資金	2	157,000	4	400,000
緊急小口資金(コロナ特例)	461	91,700,000	915	167,800,000
不動産担保型生活資金	－	－	－	－
合計	1,626	765,288,000	2,074	803,407,000

※１　延長は令和３年６月末で受付終了

※２　再貸付は令和３年１２月末で受付終了

（２）相談内訳

＜貸付に関する相談実績＞　（単位：件）

年度 資金種別	令和3年度 相談者数	令和2年度 相談者数
生活福祉資金	25	34
総合支援資金	2	7
総合支援資金(コロナ特例　新規)	390	930
総合支援資金(コロナ特例　延長)	157	923
総合支援資金(コロナ特例　再貸付)	488	374
臨時特例つなぎ資金	0	0
緊急小口資金	4	16
緊急小口資金(新型コロナ特例)	461	1,021
不動産担保型生活資金	－	2
合計	1,527	3,307

○特例貸付の概要

①緊急小口資金（コロナ特例）

休業等で一時的支援が必要な人への貸付

（金額）最大２０万円

（条件）無利子、保証人不要

②総合支援資金（コロナ特例）

生活再建までの生活費用の貸付

（金額）最大２０万円×9か月＝180万円

※延長及び再貸付含めた金額

（条件）無利子、保証人不要

１世帯　最大200万円（①＋②）まで貸付申請が可能

地域包括支援センター事業（受託事業）

高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい尊厳のある生活を継続できるように包括的及び継続的に支援した。令和２年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のためサービス利用を控えられた高齢者が多く心身状況の低下が懸念されたため、箕面市高齢福祉室の理学療法士等との同行訪問を積極的に行い、日常生活動作指導や身体機能に即した住宅改修などを実施した。また、同居家族の在宅勤務により軋轢が生じるケースが増えたため、虐待予防の観点から丁寧にかかわりを持つように努めた。

（1） 総合相談支援

高齢者の日常生活での困りごとへの相談機能

相談方法	令和３年度		令和２年度	
	件数	比率(%)	件数	比率(%)
来所・窓口	210	6.1	177	7.0
電　　話	2,365	68.3	1,775	70.4
訪問・出張	794	22.9	541	21.5
その他	94	2.7	29	1.1
合計	3,463	100.0	2,522	100.0

※同日対応での重複あり

相談経路	令和３年度		令和２年度	
	件数	比率(%)	件数	比率(%)
本人・家族	2,486	45.7	1,990	47.8
民生委員等	64	1.2	25	0.6
近隣住民	51	0.9	33	0.8
介護支援専門員	1,022	18.8	735	17.7
サービス事業者	568	10.4	485	11.7
市町村関係部署	578	10.6	418	10.1
医療機関	340	6.3	299	7.1
ささえあいステーション	30	0.6	9	0.2
その他	298	5.5	165	4.0
合計	5,437	100.0	4,159	100.0

※重複あり

相談内容	令和３年度		令和２年度	
	件数	比率(%)	件数	比率(%)
介護相談・介護者支援	2,010	24.6	1,765	27.0
介護保険サービス	1,705	20.9	1,303	20.0
ケアプラン	440	5.4	419	6.5
認定申請	1,203	14.7	941	14.4
高齢者虐待	120	1.5	57	0.9
権利擁護	95	1.1	39	0.6
医療･保健福祉サービス	1,008	12.3	826	12.7
一般介護予防	5	0.1	20	0.3
生活上の相談	455	5.6	319	4.9
総合事業関係	313	3.8	283	4.3
認知症・安否確認	634	7.8	420	6.5
その他	178	2.2	127	1.9
合計	8,166	100.0	6,519	100.0

＜地域別状況＞

校区	地域	令和３年度			令和２年度		
		相談件数	実人数	訪問回数	相談件数	実人数	訪問回数
萱野北	如意谷	946	393	251	636	269	147
萱野東	船場東	119	44	17	97	47	19
	石丸	352	142	69	174	101	44
	外院	330	127	82	130	72	36
	白島	290	113	72	258	122	55
	西宿	209	106	50	232	112	57
	今宮	253	122	65	249	111	40
豊川南	小野原東	315	185	99	324	184	82
	小野原西	250	97	71	148	81	41
	粟生新家	34	13	10	12	6	5
その他	他市	122	93	8	123	85	9
合計		3,220	1435	794	2,383	1,190	535

・相談経路としては、ささえあいステーションで相談を受けて協働したケースが前年度の3.3倍となっている。

・相談内容としては高齢者虐待の相談の増加に伴い、権利擁護・成年後見制度の相談も増え 2.4 倍となっている。
・認知症関連の相談も 200 件程度の増加がある。

（２）介護予防ケアマネジメント

要介護状態になる恐れがある高齢者に対して介護予防プランを作成し、利用者ができることを利用者とともに発見し、利用者の主体的な活動と生活の質の向上を促した。

＜介護予防給付・総合事業管理数＞

介護保険認定で要支援１、２と認定されたかたへのプラン件数

訪問介護・通所介護のみ利用する人については、介護予防給付から「みのおあんしん生活サポート事業（介護予防・日常生活支援総合事業)」の利用となる。

（単位：件）

区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	2 年度
直轄・予防	55	46	54	52	52	63	64	73	74	68	74	74	749	875
直轄・総合	45	46	47	53	52	54	57	58	58	59	52	56	637	567
委託	88	87	86	88	90	89	86	89	91	91	85	81	1,051	1,001
合計	188	179	187	193	194	206	207	220	223	218	211	211	2,437	2,443
委託割合	47%	49%	46%	46%	46%	43%	42%	40%	41%	42%	40%	38%	43%	41%

前年度比　直轄件数　　５６件減（介護予防給付＋総合事業）
　　委託件数　　５０件増（給付管理）　　合計６件減

理由　①直轄については、新型コロナウイルス感染症のため、まん延防止等重点措置期間中サービスを休止する利用者が複数名おり、給付管理がなかった。
②委託については、要介護状態だった人が更新申請にて要支援状態となり、担当していた居宅介護支援事業所がそのまま担当することになったケースがあり。

（３）権利擁護

高齢者虐待への対応・予防及び成年後見制度や日常生活自立支援事業などへの利用支援を行い、問題を抱える高齢者が自らの権利を理解し行使できるように専門性に基づいた支援を行った。

①高齢者虐待への対応

虐待受付　　７件　　コアメンバー会議開催　１０回
市高齢者虐待レビュー会議への参加　　３回（７、１０、２月）

消費者被害防止の取り組み

・福祉教育で箕面市地域包括ケア室が「認知症サポーター養成講座」を開催した際に、消費者被害の事例を交えて第六中学校の生徒に講話を行った。

・銀行から「認知症サポーター養成講座」開催の依頼があり、箕面市地域包括ケア室の保健師と共に行員に向けて行った。
・訪問時には、消費者被害予防のためのパンフレットを配布した。

②成年後見制度等の啓発活動

圏域事業所ネットワーク会議での研修　　１回

「とよの権利擁護支援センターとも」の森田氏を講師に迎え、成年後見制度の研修を箕面市内の全ての地域包括支援センターに同じ内容で行った。

（４）地域包括支援ネットワークの構築

①地域ケア会議の開催・あり方の検討

ケアマネジャーからの相談を受けて多職種で解決方法を検討する個別支援版の会議を開催し、支援者であるケアマネジャーのニーズの把握を行い、解決すべき問題や内容を導き出した。

・個別版地域ケア会議　　８回開催

（出席者）本人、家族、担当ケアマネジャー、介護サービス事業所、箕面市地域包括ケア室、社協職員（まかせてねット担当・生活相談窓口担当・ささえあいステーション担当）、民生委員等関係機関と課題分析と方向性を検討（主治医からは書面意見）

・箕面市地域ケアレビュー会議への参加　　３回（７、１０、３月）

②関係機関や地域住民とのネットワークづくり

・圏域事業所ネットワーク会議

圏域内の介護事業所を対象に、顔の見える関係づくりとチームでの取り組みの必要性を確認する目的で開催を企画したが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため第１回・第３回がオンライン開催となり、事例検討会ができなかった。

年月日	内容	会場	参加者
3．6.18	「改めて知っておきたい感染症予防対策」 講師：箕面市立病院感染制御部　四宮 聡氏） 「利用者が感染した時の関係機関との連携について」 講師：ホームケア北摂管理者　田伏 伸子氏	オンライン	20 事業所
11.19	「認知症高齢者等と警察連携」 ～こんな時にはどうすれば…～ 講師：箕面警察署　生活安全課　鷲尾　剛氏 ※東部地域包括支援センターとの合同で開催	講堂	27 事業所

4. 2.25	「成年後見制度について・事例を用いて」 講師：とよの権利擁護センターとも 森田智子氏　※箕面市包括全体研修	オンライン	18 事業所

・ **地域団体、関係機関の会合等へ参加**

	名称	参加回数
地区活動への参加	民生委員地区会（萱野東・萱野北・豊川南）	3
	小地域ネットワーク委員会（萱野北）	2
	ささえあい推進会議（萱野東・萱野北・豊川南）＝校区別地域検討会	中止
	いきいきサロン７ヵ所	3
	ささえカフェ	13
出前講座等	認知症サポーター養成講座（大阪信用金庫）	1
	認知症サポーター養成講座（萱野北小民生委員地区会）	中止
	認知症サポーター養成講座（第六中学校一年生）	1
	一人歩き模擬訓練（萱野北小民生委員・地区福祉会）	中止
	介護予防体操教室（今宮千歳サロン）	1
	地域密着型サービス運営推進会議　７ヵ所 （華の家、アケソニア、巽、ひかり、あすか箕面、楽園、樹楽箕面）	中止
関係会議への参加	生活困窮者自立支援事業推進協議会	1
	地域包括支援センター連絡会、元気サポート会議	12
	専門職会議（保健師、主任ケアマネ、社会福祉士）	13
	主任ケアマネコアメンバー会議	7
	地域ケア会議レビュー会議	3
	地域課題レビュー会議	－
	虐待レビュー会議	3
	サービス調整会議	1
	テーマ別検討会	2
	ケアマネ連絡会役員会（毎月）	11
	多職種医療連携会議	3
	箕面市地域包括ケア室との意見交換会	10
	医療介護連携会議	3
	医療福祉連絡会	－
	介護サービス評価専門員会議、認知症施策推進会議	4

（５）研修の開催、参加状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン・動画での研修が多かったが、積極的に参加するように努めた。

・外部研修

年月日	名称・テーマ	主催	参加者
3. 4. 2 17 日間	大阪府介護支援専門員更新研修	大阪介護支援専門員協会	1
4.22	箕面モデル第 23 回多職種勉強会 終末期の過ごし方：ホスピスと在宅それぞれのよさ	箕面市立病院	1
5.20～31	高齢者虐待対応研修(基礎研修)　※ウェブ配信	大阪社会福祉士会	2
5.27 28	地域包括支援センター新任研修	箕面市地域包括ケア室	2
6.9	第 1 回在宅医療・介護推進のための多職種連携研修会 「訪問看護師から見た医介連携」	箕面市医師会	5
7.9	第 5 回箕面認知症ケア向上研究会 知識から知恵にかわるとき ～明日からやりたくなる認知症ケア～	箕面市立病院認知症ケアサポートチーム エーザイ株式会社	1
7.15	福祉と法律をつなぐ勉強会①	とよの権利擁護支援センターとも	1
8.20	法人連絡会感染症研修会 「新型コロナウイルス感染症対策」	箕面市社会福祉法人連絡会	5
8.27	ケアマネ連絡会定期研修 ・障害福祉課より情報提供 ・ケアマネに関する介護報酬改定	箕面市ケアマネ連絡会	5
9.9	多職種連携研修会 「在宅医から見た医介連携」	箕面市医師会	4
9.16	高齢者ケア勉強会 「老年看護の視点から考えるパーソナリティ障害」	ななーる訪問看護ステーション	5
9.17	大阪府訪問看護実践研修事業教育ステーション事業 災害・感染を考える多職種で地域を支え合おう！	大阪府訪問看護ステーション協会	3

9.27	ケアマネ、相談員が知っておきたい成年後見講座 ～身寄りの少ない利用者の後見の活用法＆医療同意への対応方法～	大阪府介護情報・研修センター	1
9.30	認知症キャラバン・メイト養成研修	大阪府介護支援課	1
10.16	在宅医療講演会 「末期がん患者の心のケア～患者とのコミュニケーションのとりかた」	箕面市医師会	5
10.21	箕面モデル第26回多職種勉強会 終末期患者のQOLを上げる！！福祉用具の利用法	箕面市立病院	1
11.2	新人ケアマネジャー研修	箕面市地域包括ケア室	2
11.15 12. 9	地域包括支援センター職員課題別研修 高齢者虐待対応のプロセス	長寿社会開発センター	2
12.15	地域包括ケアシステム充実強化研修 高齢者の社会参加・ヤングケアラー・高齢者の自殺等	大阪府高齢介護室	1
12.16	在宅医療における感染対策研修会 新型コロナ訪問診療チームKISA2隊の取り組み	大阪府医師会	1
4. 1.26	ケアマネ、相談員が知っておきたい成年後見講座 ～身寄りの少ない利用者の後見の活用法＆医療同意への対応方法～	大阪府介護情報・研修センター	1
3.10	高齢者ケア勉強会 「作業療法士の視点で探る認知症者の QOL と生活支援」	ななーる訪問看護ステーション	1
3.10～24	地域包括ケア担当職員セミナー　※ウェブ配信 ①認知症施策の動向 ②地域共生社会の実現に向けた権利擁護支援の推進	長寿社会開発センター	3

生活困窮者自立支援事業（受託事業）

平成２７年度より箕面市から受託し、「自立相談支援事業」、「家計相談支援事業」、「就労準備支援事業」を行っている。なお、平成３１年度からは、「就労準備支援事業」の一部をＮＰＯ法人暮らしづくりネットワーク北芝に再委託をしている。

（１）相談支援の状況（自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業）

①新規相談件数

住居確保給付金の要件が緩和されたこと、新型コロナウイルス感染症特例による貸付申請の継続によりコロナ前の令和元年度に比べると約 2.3 倍の相談件数であった。一時的なピークは過ぎたものの、コロナ禍の影響は続いている。

（単位：件）

		令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
新規相談受付件数		759	1,262	331
対応内訳	支援決定	187	316	187
	相談・情報提供のみ	560	898	130
	他機関・他制度につなぐ	12	48	14
支援内容	自立相談支援プラン	187	316	187
	家計改善支援プラン	41	32	31
	就労準備支援プラン	34	38	36
	住居確保給付金*	32	94	1
	自立支援金(R3.7～)**	180	－	－

＊住居確保給付金・・離職等により住居を失う恐れが高い人に求職活動を要件に、家賃額（上限あり）を一定期間支給（収入や資産の上限有）

＊＊自立支援金・・・コロナ特例貸付を利用し貸付限度額に達した世帯に、求職活動を要件に生活資金を支給

相談者年代

（単位：件）

年代別	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
～19 歳	9	11	6
20 代	96	120	35
30 代	129	175	42
40 代	126	236	53
50 代	148	272	61
60 代	82	146	31
70 歳～	107	119	82
不　明	62	183	21
総数	759	1,262	331

相談者性別　（単位：名）

性別	令和３年度	令和２年度	令和元年度
男性	433	862	158
女性	325	394	170
不明	1	6	3
総数	759	1,262	331

居住地別相談者数　（単位：件）

包括圏域	北部西南	西部	中西部	中東部	東部	その他
令和３年	131	123	182	157	134	32
令和２年	177	320	289	201	164	111
令和元年	48	81	67	46	66	23

②支援方法

支援決定した相談者と制度利用などを検討し、自立相談支援プランを作成。プランに沿った支援方法は、主に訪問や来所による面談だが、ひきこもり状態にある相談者や新型コロナウイルスに罹患している相談者には、電話やメール、手紙での対応も行った。

（単位：件）

支援方法	件数
電話・連絡	2,651
訪問・同行・面談	2,829
他機関との会議・連絡調整	985
その他（メール、手紙等）	587
合計	7,052

③支援による状況の変化

再プランを含む自立相談支援プランにより支援し、状況変化があったのは330件だった。なお、状況変化がない人に対しては、モニタリングを継続している。

（単位：件）

変化項目	件数	変化項目	件数
医療機関の受診開始	12	対人関係・ 家族関係の改善	15
住まいの確保・安定	89	自立意欲の向上･改善	69
生活保護の適用	15	孤立の解消	11
家計の改善	18	精神の安定	30
債務の整理	15	家計管理状況の把握	19
職場定着	9	家計管理の重要性の認識	8
就職活動開始	15	一般就労開始	33
社会参加の機会の増加	20	その他	61
生活習慣の改善	3		

※複数選択あり

（２）生活困窮者自立支援推進協議会の開催

令和３年度は、前年度に引き続き、コロナ禍において経済的に困窮する人や社会的に孤立する人の課題をテーマに生活困窮者自立支援推進協議会を開催した。協議会参加の関係機関は、箕面市から教育委員会（児童相談支援センターや中学校など）や健康福祉部の各部署、市民サービス政策室や債権管理機構などで、他には高齢者くらしサポートや就労継続支援Ｂ型事業所などの障害福祉サービスの各事業所、箕面東高校などで、コロナ禍での相談内容や見えてきた課題などの共有を図った。

日時	内容	会場	参加者
4.2.14	・コロナ禍における生活相談窓口の相談支援の状況報告 ・コロナ禍における各機関での相談状況や課題の共有 ・その他	講堂	27 名

（３）就労準備のためのグループワーク

①ワークグループ「つぎの一歩」（毎月開催）

就労経験がない、または少ない人を対象に就労に向けたグループワークを開催した。コミュニケーションに重点をおいたプログラムで、自己紹介や他者とのコミュニケーションを図ることが中心となっており、最終回は自分の性格を認識できるようなワークと修了証書授与式を行った。なお、緊急事態宣言発令中は中止としていたが９月以降は感染対策を十分に行った上で開催した。

（単位：名）

年月日	3.6.25	7.30	9.24	10.29	11.26	12.24	4.1.28	2.25	3.25
参加者	3	4	6	5	6	5	5	5	6

②職場見学・体験

就労までにはまだ時間がかかるが、生活リズムが整ってきた、社会との関わりを持ちたい、就労意欲が高くなってきたなど、就労に向けた準備ができてきている人に対して、実際に就労している人の生の声を聞く機会として職場の見学・体験を行った。

年月日	見学先	見学内容	参加者
4.1.14	イーチ合同会社	施設清掃	２名

③履歴書・面接の指導（実施回数４回、のべ４名参加）

初めて就職活動をする人、新型コロナウイルス感染症の影響を含む何らかの事情で離職した人、転職希望者など、求職活動中の希望者に対して履歴書の書き方や面接の基本的マナーの指導、模擬面接の実施など一般就労に向けた支援を行った。

（４）認定生活困窮者就労訓練事業の実施に向けた調整

すぐに一般就労ができない人に対し、本人の状況に応じて就労の場を提供しながら就労による自立ができるように、生活困窮者自立支援法に基づく認定生活困窮者就労訓練事業を箕面市社会福祉協議会として申請し、令和３年１２月１４日に大阪府から認定された。令和３年度は、アンケートのデータ入力で２名の受け入れを行った。

また、法人連絡会や事業所（よりそい隊）に呼びかけ１法人が新たに認定され、市内の認定事業所数は社協を含め３事業所となった。

（５）ひきこもり家族のつどいの運営

ひきこもり状態の家族を持つ人同士が集まり、「自分の気持ちを吐き出せる場」「家族同士のつながりづくり」「ひきこもり支援に関する情報の共有」を目的として奇数月に定期開催した。主に意見交換の場としてきたが、参加者の希望のもと、ひきこもり経験者の活動団体であるＮＰＯ法人を招いて当事者目線の講演、意見交換も行った。また生活困窮者自立支援事業の制度説明を行うなど、家族だけで問題を抱えず、悩みを言い合うことで参加家族の負担軽減につながるように運営を行った。

年月日	3.10.4	11.8	4. 1.17	3.14
参加者	5家族7名	4家族6名	4家族5名	5家族7名

【学習会】

年月日	内容	講師	会場	参加者
3.7.12	「ウィークタイの活動について」 （ひきこもり当事者活動） ・意見交換	NPO法人 ウィークタイ 代表理事　泉　翔氏	会議室	6家族 8名

（６）ひとり親家庭等への子どもの食事支援について

全国社会福祉協議会の助成事業を活用し、春休み中の食事の支援が必要な世帯へ市内事業者の弁当及び食材の支援を行った。

年月日	対象	支援方法	利用者数
3.3.24 ～31	子が小・中・高のひとり親世帯等で食の確保が必要な家庭	弁当の配食	8世帯
		食材の配布	47世帯

顔の見える総合相談・支援モデル事業（受託事業）

令和３年度は、令和２年度までのモデル事業対象６校区（豊川南、萱野東、萱野北、萱野、北、中）に２校区（豊川北、箕面）を加え、計８校区で事業を実施した。

１．地域アセスメント（地域のボランティア活動等の把握）

令和２年度に引き続き、地域に存在する様々な団体を訪問し、それら団体との顔の見える関係づくりと情報収集を進めた。令和３年度は、アセスメント対象先として新たに寺社・教会、不動産会社を加え、地域との関わりや「住まいの提供」を通した課題等を把握するとともに、よりそい隊の登録につなげた。アセスメントの方法は、活動場所等に訪問しての聞き取りを基本としながら、新型コロナウイルス感染拡大に配慮し電話による聞き取りも行った。

◎地域情報シートの作成

地域アセスメントを通して得た情報をもとに、地域特性、人口等の基礎情報や地域団体等の情報をまとめた地域情報シートを校区ごとに作成し、社協ホームページで公開した。

◎「地域情報マップ」「介護・医療情報マップ」の作成

地域アセスメントを通して得た情報の一部について、ｅコミマップを活用してマップを作成し、社協ホームページで公開した。「地域情報マップ」では、モデル校区内の住民同士の集いの場や業者による移動販売車の停車場所等、「介護・医療情報マップ」では、病院・診療所、歯科医院、薬局、障害福祉サービス事業所、介護サービス事業所を地図上で見られるようにした。

【モデル８校区でのアセスメント実施状況】

	対象数		
		実施	実施不可
教育・保育施設	17	16	1
公的な団体	14	14	0
地域団体	113	107	6
自治会	177	147	30
マンション管理組合	44	17	27
住民の集いの場	60	55	5
NPO法人	18	17	1
生活関連事業者	155	152	3
不動産会社	17	17	0
寺社・教会	34	31	3
合計	649	573	76

【モデル８校区の内訳】

	豊川北			豊川南			萱野東			萱野北		
	対象数			対象数			対象数			対象数		
		実施	実施不可		実施	実施不可		実施	実施不可		実施	実施不可
教育・保育施設	1	1	0	2	1	1	4	4	0	4	4	0
公的な団体				1	1		1	1				
地域団体	10	8	2	13	13	0	13	13	0	11	11	0
自治会	19	16	3	38	34	4	32	27	5	7	6	1
マンション管理組合	1	1	0	5	2	3	10	3	7	2	2	0
住民の集いの場	10	10	0	9	9	0	12	12	0	6	6	0
NPO法人				2	2	0	4	4	0	1	1	0
生活関連事業者	12	12	0	21	19	2	29	28	1	8	8	0
不動産会社	2	2	0	1	1	0	3	3	0			
寺社・教会	5	5	0	4	3	1	6	6	0	2	2	0
合計	60	55	5	96	85	11	114	101	13	41	40	1

	萱野			北			中			箕面		
	対象数			対象数			対象数			対象数		
		実施	実施不可		実施	実施不可		実施	実施不可		実施	実施不可
教育・保育施設	2	2	0	1	1	0	2	2	0	1	1	0
公的な団体	4	4		4	4		4	4				
地域団体	12	12	0	14	14	0	14	11	3	12	11	1
自治会	28	19	9	5	4	1	30	26	4	18	15	3
マンション管理組合	5	1	4	8	1	7	11	7	4	2	0	2
住民の集いの場	9	8	1	4	0	4	5	5	0	5	5	0
NPO法人	6	5	1	1	1	0	2	2	0	2	2	0
生活関連事業者	22	22	0	39	39	0	12	12	0	12	12	0
不動産会社	1	1	0	5	5	0	1	1	0	4	4	0
寺社・教会	6	4	2	6	6	0	2	2	0	3	3	0
合計	95	78	17	87	75	12	83	72	11	59	53	6

	広域		
	対象数		
		実施	実施不可
地域団体	14	14	0
合計	14	14	0

※「実施不可」は、訪問の拒否や連絡がつかずに手紙ポスティング（投函）のみで終了しているもの

２．総合相談（地域活動や個人の生活上の困りごとへの対応）

（１）ささえあいステーションの開所

モデルの８校区にて、校区内の身近な場所に相談窓口（週１日（１０～１６時））を開設した。令和２年度までは週２日、交番方式（職員不在時は電話対応）で開所していたが、駐在方式（常時滞在）に変更し、高齢者くらしサポート職員が同席（月２回午前中）することで介護保険等の相談に迅速に対応できる体制をとった。また、地域の身近な相談窓口としての機能を高めるため、中小校区の開設場所を市立障害福祉センターささゆり園からコミュニティセンター中小会館に変更した。また、市内全域での相談窓口として、毎週土曜日（１０～１６時）は高齢者くらしサポート職員とともに、箕面市役所にて開設した。

【ささえあいステーション開設曜日・場所】

校区	曜日	場所
豊川北	木	奥自治会館（東部高齢者くらしサポート内）
豊川南	水	あいあいルームとよみな
萱野東	月	みのおキューズモール EAST1-2F（中東部高齢者くらしサポート内）
萱野北	火	コミュニティセンター萱野北小会館
萱野	水	みのおライフプラザ
北	火	みのおサンプラザ 1 号館 3F
中	木	コミュニティセンター中小会館
箕面	月	オフィスワイ（西部高齢者くらしサポート内）
市内全域	土	箕面市役所 1 階北側 13 窓口

（２）相談経路

ささえあいステーション職員は業務用の携帯電話を所持し、業務時間内は常時相談を受けられる体制を整え、ステーションへの来所相談以外にも様々な経路で相談対応を行った。相談経路は「電話」が最も多く、次いで「来所」による相談であった。

ステーション滞在時に受けた相談は、昨年度より大幅に増加した。その理由は単純にモデル校区が増えたことだけではなく、職員の配置を交番方式から駐在方式に変更したこと、中小校区のステーションの場所変更によりステーションに対する住民の認知度が高まったことも考えられる。

（３）相談内容

受け付けた相談は、地域活動に関するものを「地域相談」、個人の困りごとを「個人相談」と分類している。「地域相談」は、地域団体以外にも自治会、ボランティア・ＮＰＯ、生活関連事業所等から、活動を広く展開させるための相談があった。「個人相談」は、高齢者に関する相談が多く、令和２年度と比較すると、特に「公共施設・行政」からの相談（うち約８割が高齢者くらしサポート）が増えている。その中には、高齢者くらしサポートからの地域ケア会議への参加依頼も含まれており、地域ケア会議には年間１２回参加した。

（４）相談対応

相談の対応は、専門機関等への「つなぎ・情報提供」が大部分を占める。地域での新たな取り組みに発展した相談は、「地域相談」では約１割、「個人相談」では 209 件中１件であった。また、令和３年度は、月２回高齢者くらしサポート職員がステーションに滞在したが、滞在中に高齢者くらしサポート職員が直接対応した相談（「包括対応」）は年間８件であった。

【令和３年度　年間相談総実績】（※モデル校区に居住する市民から受けた相談実績）

圏域	相談者の校区	今年度相談件数	相談経路					相談内容																			
								地域								個人											
									相談分類		対応終了						相談分類							対応終了				
			ささステ来所	ささステ外来所	電話	メール・はがき	訪問・出張		活動全般	地域の困りごと	つなぎ・情報提供	取り組み支援	シーズ	包括対応	対応中		高齢	障害	子ども	外国人	生活困窮	医療・保健	生活上の相談	つなぎ・情報提供	取り組み支援	シーズ	包括対応	対応中
東部	豊川北	27	6	1	14	3	3	10	10	0	6	1	2	0	1	17	8	1	2	0	1	0	5	16	0	1	0	0
中東部	豊川南	39	6	0	26	0	7	19	17	2	18	1	0	0	0	20	10	0	6	1	0	1	2	18	0	0	2	0
	萱野東	43	3	2	21	5	12	23	20	3	20	1	1	0	1	20	12	0	4	1	2	0	1	19	0	0	0	1
	萱野北	30	11	4	11	0	4	12	8	4	11	1	0	0	0	18	16	0	0	0	2	0	0	17	0	0	1	0
中西部	萱野	61	8	15	30	2	6	19	16	3	14	4	1	0	0	42	28	6	3	0	1	0	4	39	1	0	1	1
	北	52	9	4	36	0	3	12	10	2	9	1	1	0	1	40	31	2	1	0	1	1	4	38	0	0	1	1
	中	40	12	9	12	0	7	17	14	3	14	2	1	0	0	23	17	1	0	0	1	1	3	22	0	0	1	0
西部	箕面	48	9	7	30	1	1	19	18	1	16	1	1	0	1	29	23	2	0	0	0	0	4	27	0	0	2	0
合計		340	64	42	180	11	43	131	113	18	108	12	7	0	4	209	145	12	16	2	8	3	23	196	1	1	8	3
令和2年度計		319	34	22	151	6	106	191	184	7	152	10	23		6	128	79	11	10	3	7	1	17	125	2	0		1

【相談者の属性と相談内容（地域相談）】

相談者属性	令和３年度			令和２年度
	活動全般	地域の困りごと	計（割合）	計（割合）
地域団体	28	6	34(25.9%)	58(30.4%)
公共施設・行政	25	3	28(21.4%)	20(10.5%)
自治会・マンション	17	7	24(18.3%)	32(16.8%)
ボランティアG・NPO	14	1	15(11.5%)	31(16.2%)
一般市民	13	―	13(9.9%)	10(5.2%)
生活関連事業所	10	1	11(8.4%)	13(6.8%)
医・介・福事業所	6	―	6(4.6%)	27(14.1%)
計	113	18	131	191

【相談者の属性と相談内容（個人相談）】

相談者属性	令和３年度								令和２年度
	高齢者	障害	子ども	外国人	生活困窮	医療・保健	生活上の相談	計（割合）	計（割合）
地域団体	62	4	5	－	3	1	8	83(39.7%)	53(41.4%)
公共施設・行政	29	5	6	1	－	1	4	46(22.0%)	13(10.2%)
本人	18	－	3	－	1	1	6	29(13.9%)	14(10.9%)
家族・親族	12	1	1	－	－	－	1	15(7.2%)	6(4.7%)
生活関連事業所	10	1	－	－	1	－	1	13(6.2%)	9(7.0%)
一般市民	8	－	－	－	－	－	1	9(4.3%)	16(12.5%)
医・介・福事業所	3	－	－	1	－	－	1	5(2.4%)	7(5.5%)
ボランティアG・NPO	1	－	1	－	2	－		4(1.9%)	6(4.7%)
自治会・マンション	1	1	－	－	－	－	1	3(1.4%)	3(2.3%)
議員	1	－	－	－	1	－	－	2(1.0%)	1(0.8%)
計	145	12	16	2	8	3	23	209	128

３．協議体の開催（地域のネットワークづくりや地域課題の共有）

（１）定例協議体（ささえあい推進会議）

校区ごとに、定例協議体（ささえあい推進会議）を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期を繰り返し、結果的に令和３年度中の開催は見合わせることにした。

呼びかけ団体：地区福祉会、民生委員・児童委員、青少年を守る会、青少年指導員、ＰＴＡ、こども会、老人クラブ、保護司、更生保護女性会、コミュニティセンター管理運営委員会、地区防災委員会、自治会、ボランティアグループ、ＮＰＯ、当事者組織、よりそい隊登録事業所、高齢者くらしサポート、地域住民

（２）取組会議（新たな取り組みの検討）

相談対応の中で出た課題やつなぎ先がない場合、住民や事業所を主体とした新たな取り組みの支援を行った（資源開発）。令和元年度からの継続が１５件、令和２年度からの継続が１３件、令和３年度の新規が１４件、計４２件について支援した。

【令和３年度の取り組み支援数】うち（　）は新規　（単位：件）

校　区	集いの場	見守り	生活支援	災害	話し合いの場	その他	合計
豊川北	1						1
	(1)						(1)
豊川南	7				1	1	9
	(1)				(1)		(2)
萱野東	3	1			2	1	7
					(1)		(1)
萱野北			2				2
			(1)				(1)
萱野	1		2	1			4
	(1)		(2)				(3)
北	2	2				2	6
		(1)					(1)
中	6			1		1	8
	(3)						(3)
箕面	1						1
	(1)						(1)
全市			2		1	1	4
			(1)				(1)
合計	21	3	6	2	4	6	42
	(7)	(1)	(4)		(2)		(14)

◎具体的な取り組み事例

新型コロナウイルスワクチン接種インターネット予約支援（萱野小校区）

「予約の電話がつながらない」「インターネット予約は自信がない」と言う声を受け、予約が難しい高齢者に対し、自治会、地区福祉会、ＮＰＯ法人が連携し、校区内５か所にネット予約支援会場を作り、スムーズなワクチン接種へと繋いだ。令和３年５月の３日間で５４名、令和４年の３回目接種で１４名の予約支援を実施した。

ご近所サロンの立ち上げ（豊川南小校区）

徒歩圏で誰もが気軽に交流できるご近所サロンの立ち上げを目指し、令和３年度には『あいあいカフェ』（あいあいルーム）、『おのはらサロン』（フォルク会館）、『スマイルカフェ』（小野原住宅地集会場）の３か所が誕生した。

小地域ささえあい会議（萱野東小校区）

萱野東小校区は広大であり、エリアによって地域課題が異なる。校区全体での話し合いだけでは実践に結びつきにくいことから、いきいきサロン開催エリア単位での「ささえあい会議」を開催することにした。より身近な小地域単位で話し合うことで、顔の見える関係が築きやすく、身近な課題を共有することができた。

防災ネットワーク（中小校区）

地区敬老事業の際に実施したアンケート調査で、災害時の避難について心配する声が多く挙がったことから、地区防災委員会として安否確認、自治会の無いエリアへのアプローチ、住民への周知活動について検討し、防災ネットワークの広報誌発行、災害時名簿の整理や自治会を基本とする見守り体制について検討を始めている。

ささえあいステーション de ブロック会議（北小校区）

住民や経験の浅い民生委員から､｢見守っている高齢者についての相談は誰にしたらいいかわからない」との声があり、民生委員エリアごとに地区福祉会役員幹事、民生委員・児童委員、一声訪問員などの住民と、高齢者くらしサポートの福祉専門職、社協地区担当で、日頃の見守り状況を共有する会議をささえあいステーション開設時に合わせて行った。福祉専門職と住民の顔の見える関係が築けたことで、見守る住民にも安心が広がっている。

子ども支援ネットワーク（全市）

子どもを支援する民間団体や行政の連携を促進し、新たな取り組みにつなげることを目的に､｢子ども支援オープン会議」を３回開催した。また、団体間の情報共有を随時行うツールとしてメーリングリストを作成し、参加団体が主催する研修等の情報発信を行った。

年月日	主な議題	会場	出席者
3. 4. 8	・各団体の取り組み状況、課題共有 ・支援対象児童等見守り強化事業について	みのお市民活動センター	12 団体 18
9.22	・箕面市における児童虐待相談対応の現状について ・支援対象児童等見守り強化事業について ・意見交換	講堂	16 団体 23
4. 3.11	・NPO 法人あっとすくーるの活動紹介 ・意見交換	オンライン	16 団体 25

４．広報・出張講座の開催

地域で行われている支え合い活動の広報を行った。新型コロナウイルス感染拡大により各団体の会合やイベントは中止が多く、会合等に参加しての情報提供機会は減ったが、社協だよりに「モデル校区の活動レポート」を掲載したほか、ささえあい通信を発行して広報に努めた。

（１） 社協だより発行（令和３年５月号、９月号、令和４年２月号）

全戸配布の社協だよりにささえあいステーション関連記事を掲載した。

・「ささえあいステーション実施校区を８つの小学校区に増やします！」、「今宮こども食堂オープン！」「銀行の窓口で福祉相談会！」（令和３年５月号）

・新型コロナワクチン接種予約のお手伝い！（令和３年９月号）

・ささえあいステーションの場を活用した取り組み「あいあいカフェ」「ささえあいステーション de ブロック会議」（令和４年２月号）

（２）ささえあい通信発行（令和３年７月、１１月）

地域の支え合い活動やお役立ち情報、イベント情報を掲載して発行した。

・自治会内でアンケート調査がきっかけとなった支えあいの取り組み紹介
赤い羽根共同募金箕面市地域支え合いプロジェクト助成金（令和３年７月号）

・コロナ禍で実施した「オンライン」での取り組み紹介（令和３年１１月号）

配布先：地区福祉会（１３地区）、民生委員・児童委員（全員）、モデル校区地域団体（青少年を守る会、老人クラブ、コミュニティセンター管理運営委員会、ＰＴＡ他）、ささえあい推進会議参加団体、社会福祉関係団体、行政、市議会議員、市内全自治会・マンション管理組合にて回覧

（３）見守りラックの設置

よりそい隊登録事業所に対し、事業所の店頭に社協だより等広報物を置いてもらうためのラックの設置を依頼し、125 か所 127 台の設置協力を得た。

（４）ホームページ、ブログの掲載

社協ホームページ内に「ささえあいステーション」のページを作成している。また、タイムリーな情報の発信として、「社協ブログ」に、地域の支え合い活動等を掲載した。

居宅介護支援事業

在宅生活を送っている要介護認定者と要支援認定者に対して、本人やその家族が地域で安心して暮らせるよう多様なニーズに合わせた居宅サービス計画（ケアプラン）の作成と、箕面市から委託による認定調査を実施した。また、地域福祉サービスが円滑に利用できるように日常生活自立支援事業、中東部地域包括支援センター等の社協内事業と連携を取りながら調整を行った。

（1）レセプト請求実績

	令和3年度			令和2年度		
月	要介護(件)	要支援(件)	合計	要介護(件)	要支援(件)	合計
4	137	26	163	137	23	160
5	136	26	162	136	23	159
6	137	24	161	137	25	162
7	139	24	163	135	24	159
8	147	26	173	141	26	167
9	141	25	166	135	25	160
10	142	27	169	134	25	159
11	143	27	170	134	27	161
12	146	26	172	132	26	158
1	132	27	159	133	25	158
2	129	29	158	138	24	162
3	128	29	157	145	24	169
合計	1,657	316	1,973	1,637	297	1,934
平均	138	26	164	136	25	161

（2）認定調査実績

	箕面市	市外
令和３年度	105	0
令和２年度	92	0

(3)研修の開催、参加状況

①外部研修

年月日	名称・テーマ	主催	参加者
3. 4.22	多職種勉強会 「終末期の過ごし方」	箕面市立病院	1
6. 9	多職種連携研修会 「訪問看護師から見た医介連携」	箕面市医師会	3
8.18	多職種連携元気サポート会議 事例報告会	箕面市地域包括ケア室	1
9.17	「災害・感染を考える」	大阪府訪問看護ステーション協会	3
10.19	感染症・事業所内での感染対策	居宅事業所共同研修	5
10.21	多職種勉強会 終末期患者の QOL を上げる福祉用具の利用法	箕面市立病院	1
4. 3.1	ケアマネ連絡会 3 月定期研修会 「高齢者に多い皮膚疾患」	箕面市居宅介護事業所連絡会	1

②内部研修

年月日	名称・テーマ	会場	参加者
3. 4. 7	おひとり様の老後について	居宅事業所内	5
5.19	高齢者の虐待	居宅事業所内	5
6. 9	アニマルセラピーについて	居宅事業所内	5
7. 7	死後の手続きについて	居宅事業所内	5
8.18	8050 問題について	居宅事業所内	5
9.15	社協のサービスについて	居宅事業所内	5
10.6	高齢者の精神疾患	居宅事業所内	5
11.10	法令順守	居宅事業所内	5
12. 1	外国人に対する差別	居宅事業所内	5
4. 1.12	フレイルについて	居宅事業所内	4
3. 2	ハラスメントについて	居宅事業所内	4

ホームヘルプ事業

ホームヘルパーを派遣し、利用者が自立した生活を安心して営めるようにサービスを提供した。令和３年度も、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の中、利用者や家族が感染者や濃厚接触者の対象となったこと等により、利用回数は減少したが、移動支援については外出自粛が緩和され、昨年度を大幅に上回った。

（１）ホームヘルプサービス派遣実績

区分	介護保険		介護予防・総合事業		居宅介護・同行援護 重度訪問介護		移動支援		合計	
	回数	派遣時間	回数	派遣時間	回数	派遣時間	回数	派遣時間	回数	派遣時間
3 年度	14,916	13,616	1,956	1,433	10,601	9,913	982	2,551	28,455	27,523
2 年度	14,933	13,355	1,968	1,466	11,829	11,512	711	2,189	29,441	28,522
比較	△17	△261	△12	△33	△1,228	△1,599	271	362	△986	△999

（２）研修の開催、参加状況

①　外部研修

年月日	名称・テーマ	主催	参加者
3. 6. 9	感染症実地研修 講師：浅香山病院　金崎 美奈子氏	箕面市高齢福祉室	1
6. 9	第１回多職種連携研修会 「訪問看護師から見た医介連携」	箕面市医師会	1
6.18	第１回ネットワーク会議 「BCP について考える」	中西部及び西部高齢者くらしサポート	1
8.19	ヘルパー×終末期:難しい利用者とのラポールの築き方 講師：訪問介護 SKY　西村 志保氏	箕面市立病院	1
8.20	感染症研修 講師：箕面市立病院　四宮　聡氏	箕面市社会福祉法人連絡会	1
10.22	第２回ネットワーク会議 身寄りのない認知症の方の自立に向けた支援	中西部及び西部高齢者くらしサポート	1
10.22. 5 日間	障害者ホームヘルパー知識取得 （居宅介護職員初任者）研修	大阪障害者自立支援協会	1
11.11	第１回勉強会 「事例を通じての意見交換」	箕面市訪問介護事業所連絡会	1

2.18	第3回ネットワーク会議 「成年後見制度」	中西部及び西部高齢者くらしサポート	1
3.24	第2回勉強会 「事例を通じての多職種連携のあり方の検討」	箕面市訪問介護事業所連絡会	1

② 内部研修

年月日	名称・テーマ	会場	参加者
3. 4.15	接遇について	書面	41部配布
5.19	個人情報取り扱いについて	書面	41部配布
6.17	感染症予防について	書面	41部配布
7.13	脱水対策・接食・嚥下障害基礎知識について	会議室	18名参加 23部配布
8.19	健康・体調管理について	書面	41部配布
9.17	精神疾患について	書面	41部配布
10.21	災害・防災対策について	書面	41部配布
11.18	バイクの取り扱いについて	会議室	14名参加 27部配布
12.16	交通ルールについて	会議室	15名参加 24部配布
4. 1.20	認知症の方への対応について	会議室	13名参加 28部配布
2.17	高齢者、障害者虐待防止について	会議室	15名参加 25部配布
3.17	利用者アンケート報告	書面	37部配布

稲デイサービスセンター事業

（１）通所介護事業実績

①月別年間利用実績

令和３年度				令和２年度				対前年比較（増減）		
月	日数	利用者数	1日平均	月	日数	利用者数	1日平均	日数	利用者数	1日平均
4月	26	586	22.5	4月	26	402	15.4	0	184	7.1
5月	23	468	20.3	5月	26	481	18.5	△3	△13	1.8
6月	26	580	22.3	6月	26	590	22.6	0	△10	△0.3
7月	27	647	23.9	7月	27	619	22.9	0	28	1.0
8月	26	654	25.1	8月	26	560	21.5	0	94	3.6
9月	26	678	26.0	9月	26	587	22.5	0	91	3.5
10月	26	640	24.6	10月	26	618	22.8	0	22	1.8
11月	26	629	24.1	11月	25	575	23.0	1	54	1.1
12月	24	598	24.9	12月	21	477	22.7	3	121	2.2
1月	24	584	24.3	1月	24	546	22.7	0	38	1.6
2月	24	528	22.0	2月	24	537	22.3	0	△9	△0.3
3月	27	637	23.6	3月	27	616	22.8	0	21	0.8
上半期	154	3,613	23.4	上半期	157	3,239	20.6	△3	374	2.8
下半期	151	3,616	23.9	下半期	147	3,369	22.7	4	247	1.2
年間計	305	7,229	23.7	年間計	304	6,608	21.7	1	621	2

②介護度別年間登録利用者（延べ人数・パーセンテージ）

年度		総合事業	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合計
令和３年度	人数	310	340	105	87	39	4	885
	比率	35.0%	38.4%	11.9%	9.8%	4.4%	0.5%	100%
令和２年度	人数	291	291	121	82	38	3	826
	比率	35.3%	35.3%	14.6%	9.9%	4.6%	0.3%	100%

（２） 市民・地域に開かれた事業展開

①日課・行事ボランティアのデイ参加

令和3年度	令和2年度
参加者 20名（個人20名、団体　0グループ）	参加者　15名（個人15名、団体　0グループ）

②作業療法士実習生の受け入れ

期間	人数
3. 6.21～7.9	1名
7.11～30	1名
8.23～9.24	1名
9.27～10.28	1名
4. 1.24～26	1名

（３）研修の開催、参加状況

①施設外研修

年月日	名称・テーマ	主催	参加者
3. 6.16	感染症・食中毒予防対策講習会	大阪府社会福祉協議会	1 名
6.18	第 1 回ネットワーク会議 「BCP について考える」	中西部及び西部高齢者くらしサポート	1 名

②施設内研修

年月日	名称・テーマ	会場	参加者
3. 4.2	研修報告会（機能訓練）	稲デイサービスセンター内	14 名
11.5	緊急時マニュアルについて	稲デイサービスセンター内	14 名
12.3	リスクマネジメントについて	稲デイサービスセンター内	14 名

箕面市立介護老人保健施設運営事業

（１）介護老人保健施設サービス、短期入所サービスの実績（月間延べ利用者、１日平均入所者）

［施設入所利用定員（短期入所含む）：100名］

（単位：名）

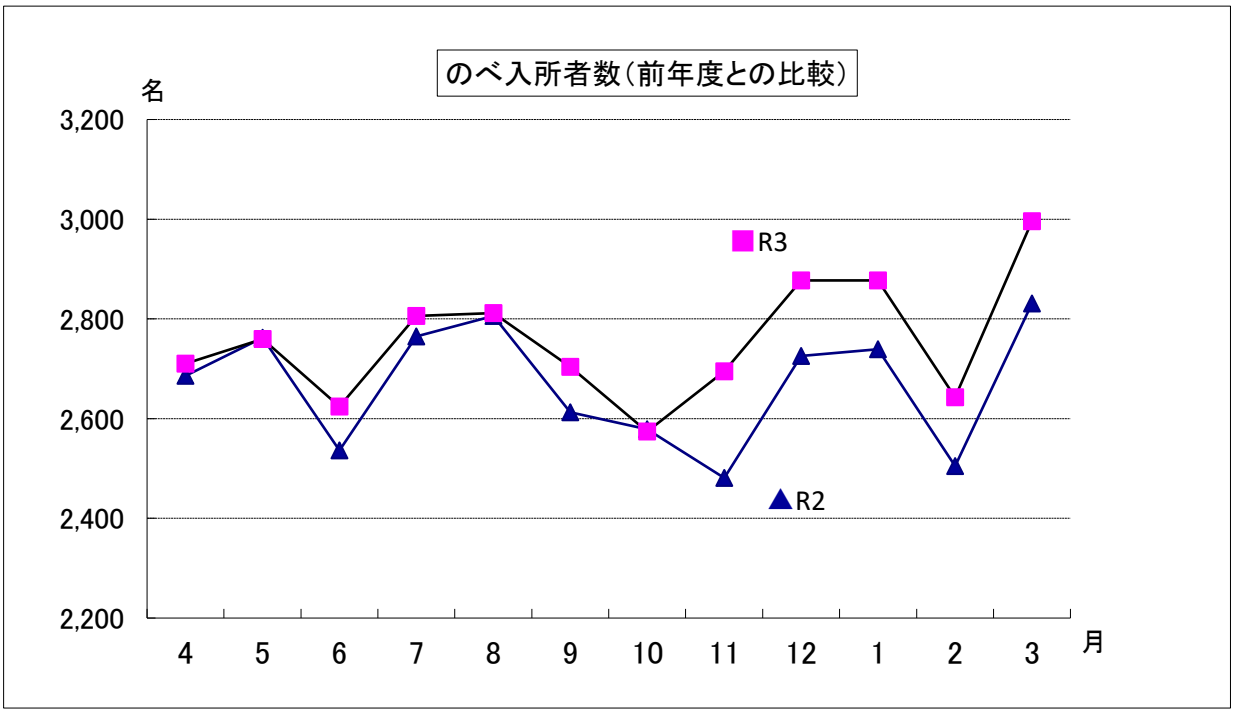
3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
施設入所	2,494	2,566	2,483	2,624	2,577	2,436	2,310	2,333	2,522	2,598	2,391	2,736	30,070
短期入所	216	194	141	182	235	268	264	362	355	279	252	260	3,008
計	2,710	2,760	2,624	2,806	2,812	2,704	2,574	2,695	2,877	2,877	2,643	2,996	33,078
1日平均	90.3	89.0	87.5	90.5	90.7	90.1	83.0	89.8	92.8	92.8	94.4	96.6	90.6

（単位：名）

2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
施設入所	2,549	2,733	2,402	2,510	2,520	2,398	2,385	2,136	2,439	2,536	2,269	2,653	29,530
短期入所	137	29	134	255	286	215	194	345	287	203	236	178	2,499
計	2,686	2,762	2,536	2,765	2,806	2,613	2,579	2,481	2,726	2,739	2,505	2,831	32,029
1日平均	89.5	89.1	84.5	89.2	90.5	87.1	83.2	82.7	87.9	88.4	89.5	91.3	87.8

（単位：名）

対前年度増減	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
施設入所	△ 55	△ 167	81	114	57	38	△ 75	197	83	62	122	83	540
短期入所	79	165	7	△ 73	△ 51	53	70	17	68	76	16	82	509
計	24	△ 2	88	41	6	91	△ 5	214	151	138	138	165	1,049
1日平均	0.8	△ 0.1	2.9	1.3	0.2	3.0	△ 0.2	7.1	4.9	4.5	4.9	5.3	2.8



（２）介護度別　施設利用者数（実人数、市内･市外別）

（単位：名）

種別	要介護度	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
施設入所	1	4	2	4	3	5	3	6	3	8	3	9	3	6	2	7	3	6	3
	2	18	4	17	5	14	4	16	4	13	4	14	3	13	3	13	3	12	3
	3	18	7	17	7	17	7	20	6	20	6	19	6	21	6	22	6	22	5
	4	24	4	22	3	24	3	22	3	19	3	19	4	19	3	17	3	21	5
	5	15	1	13	1	14	1	15	2	13	4	13	4	13	3	13	2	14	2
	計	79	18	73	19	74	18	79	18	73	0	74	20	72	17	72	17	75	18
短期入所	要支援	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	1	4	1	3	1	5	－	5	－	6	－	7	2	8	3	5	2	4	1
	2	4	－	4	－	6	－	4	1	9	1	6	－	5	1	3	3	7	2
	3	7	1	5	1	4	－	3	－	3	－	8	－	4	2	10	3	12	1
	4	3	－	2	－	4	－	5	－	5	1	7	－	4	－	4	－	9	－
	5	7	－	6	－	5	－	8	－	5	－	8	－	7	1	5	3	7	1
	計	25	2	20	2	24	0	25	1	28	2	36	2	28	7	27	11	39	5

種別	要介護度	1月		2月		3月		年間計				前年度			
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	計	構成比	市内	市外	計	構成比
施設入所	1	5	4	7	4	7	5	74	38	112	10.0%	83	39	122	11.1%
	2	12	3	12	4	14	5	168	45	213	19.0%	136	48	184	16.7%
	3	24	5	21	4	24	4	245	69	314	27.9%	241	70	311	28.2%
	4	20	5	16	7	17	5	240	48	288	25.6%	204	36	240	21.8%
	5	16	2	16	2	16	2	171	26	197	17.5%	201	44	245	22.2%
	計	77	19	72	21	78	21	898	226	1,124	100.0%	865	237	1,102	100.0%
短期入所	要支援	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0%	－	－	－	0.0%
	1	3	1	3	－	6	－	59	11	70	18.0%	51	4	55	19.3%
	2	6	－	4	－	2	1	60	9	69	17.7%	47	5	52	18.2%
	3	13	－	12	2	12	－	93	10	103	26.5%	71	7	78	27.4%
	4	7	－	5	－	6	－	61	1	62	15.9%	47	－	47	16.5%
	5	6	1	7	1	6	1	77	8	85	21.9%	51	2	53	18.6%
	計	35	2	31	3	32	2	350	39	389	100.0%	267	18	285	100.0%

（３）月末在所者数（男女別）

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	比率(%)
男性	26	29	26	26	28	28	27	30	32	31	29	29	28.4	31.3
女性	65	61	62	62	65	58	56	62	61	63	67	66	62.3	68.7
計	91	90	88	88	93	86	83	92	93	94	96	95	90.8	100.0

上記、サービス種別毎の内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	比率(%)
施設入所	男性	22	23	26	22	26	23	23	29	28	24	26	25	24.8	30.4
	女性	59	59	59	59	57	54	50	51	53	59	62	59	56.8	69.6
	計	81	82	85	81	83	77	73	80	81	83	88	84	81.5	100.0
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	比率(%)
短期入所	男性	4	6	－	4	2	5	4	1	4	7	3	4	3.7	39.6
	女性	6	2	3	3	8	4	6	11	8	4	5	7	5.6	60.4
	計	10	8	3	7	10	9	10	12	12	11	8	11	9.3	100.0

（４）入所経路及び退所先

（単位：名）

3年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	比率(%)
入所者数	家　　庭	10	9	5	8	6	8	7	11	9	11	5	7	96	61.5
	医療機関	4	2	5	7	6	3	5	5	5	4	4	4	54	34.6
	介護施設	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	1	－	3	1.9
	そ の 他	－	－	1	－	1	－	－	1	－	－	－	－	3	1.9
	計	14	11	11	15	13	11	13	17	15	15	10	11	156	100.0
退所者数	家　　庭	10	4	6	9	2	8	11	7	8	8	2	7	82	52.2
	医療機関	4	2	3	2	4	4	2	2	5	1	2	3	34	21.7
	介護施設	2	2	－	2	2	3	1	－	1	1	－	4	18	11.5
	死　　亡	－	1	－	2	－	－	1	1	－	－	－	－	5	3.2
	そ の 他	1	2	－	2	3	3	1	－	－	3	1	2	18	11.5
	計	17	11	9	17	11	18	16	10	14	13	5	16	157	100.0
差引		△ 3	0	2	△ 2	2	△ 7	△ 3	7	1	2	5	△ 5	△ 1	

※「その他」特別養護老人ホームと介護老人保健施設以外

（単位：名）

2年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	比率(%)
入所者数	家　　庭	11	6	2	9	8	14	3	10	9	5	7	10	94	60.3
	医療機関	3	2	2	4	4	1	4	4	8	4	8	6	50	32.1
	介護施設	－	－	1	2	－	－	－	－	－	－	－	－	3	1.9
	そ の 他	－	－	1	3	1	－	－	1	－	－	－	1	7	4.5
	計	14	8	6	18	13	15	7	15	17	9	15	17	154	98.7
退所者数	家　　庭	3	2	13	5	12	6	9	9	4	5	7	7	82	52.2
	医療機関	1	3	3	2	1	1	2	2	3	4	5	3	30	19.1
	介護施設	1	4	－	1	3	2	2	1	1	1	－	2	18	11.5
	死　　亡	1	－	1	1	2	1	－	－	－	－	－	2	8	5.1
	そ の 他	2	2	1	1	1	1	2	1	2	－	－	2	15	9.6
	計	8	11	18	10	19	11	15	13	10	10	12	16	153	97.5
差引		6	△ 3	△ 12	8	△ 6	4	△ 8	2	7	△ 1	3	1	1	

（５）通所リハビリテーション利用者数

［通所リハビリテーション利用定員：４０名］

①月間実人数、延利用者数、１日平均　（単位：名）

3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	26	26	26	27	26	26	26	26	26	25	24	27	311
実人数	79	80	74	80	78	78	85	85	83	79	77	77	955
延利用者	669	690	633	685	630	657	712	727	697	624	583	635	7,942
1日平均	25.7	26.5	24.3	25.4	24.2	25.3	27.4	28.0	26.8	25.0	24.3	23.5	25.5

2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	24	27	310
実人数	84	81	90	89	85	87	87	87	84	81	76	75	1,006
延利用者	476	440	757	761	718	722	759	715	703	599	618	690	7,958
1日平均	18.3	16.9	29.1	28.2	27.6	27.8	28.1	28.6	27.0	25.0	25.8	25.6	25.7

対前年度増減	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	0	0	0	0	0	0	△ 1	1	0	1	0	0	1
延利用者	193	250	△124	△76	△88	△65	△47	12	△6	25	△35	△55	△16
1日平均	7.4	9.6	△4.8	△2.8	△3.4	△2.5	△0.7	△0.6	△0.2	0.0	△1.5	△2.0	△0.2

②要介護別年間利用者数　（単位：名）

3年度	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
実人数	12	58	153	208	214	167	143	955
延利用者	51	437	1,397	1,791	1,867	1,330	1,069	7,942

2年度	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
実人数	14	57	191	249	235	140	120	1,006
延利用者	55	358	1,596	2,061	1,791	1,293	804	7,958

対前年度増減	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
実人数	△ 2	1	△ 38	△ 41	△ 21	27	23	△ 51
延利用者	△ 4	79	△ 199	△ 270	76	37	265	△ 16

③男女別年間利用者数　（単位：名）

3年度	男	女	2年度	男	女	対前年度増減	男	女
実人数	512	443	実人数	574	432	実人数	△ 62	11
延利用者	4,246	3,696	延利用者	4,542	3,416	延利用者	△ 296	280

（６）訪問リハビリテーション利用者数

［訪問リハビリテーション利用定員：５名］

（単位：名）

3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242
実人数	10	11	11	9	7	8	8	8	8	6	5	4	95
延利用者	48	48	43	42	32	39	45	41	40	31	28	30	467
1日平均	2.3	2.7	2.0	2.1	1.5	2.0	2.1	2.1	2.0	1.6	1.6	1.4	1.9

（単位：名）

2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
実人数	5	2	4	6	5	7	6	7	8	8	8	10	76
延利用者	13	6	14	21	18	24	22	27	31	25	25	45	271
1日平均	0.6	0.3	0.6	1.0	0.9	1.2	1.0	1.4	1.6	1.3	1.4	2.0	1.1

（７）特別なケアを必要とする利用者数（実人数）

（単位：名）

3年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
施設入所	胃　瘻	3	3	4	4	5	5	5	5	5	5	4	3	51
短期入所	胃　瘻	3	2	2	2	1	1	1	2	1	1	2	3	21
計		6	5	6	6	6	6	6	7	6	6	6	6	72

（単位：名）

2年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
施設入所	胃　瘻	2	2	3	3	5	5	5	4	3	3	4	4	43
短期入所	胃　瘻	0	0	1	1	1	1	0	1	2	2	2	3	14
計		2	2	4	4	6	6	5	5	5	5	6	7	57

（単位：名）

3年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所リハ	胃　瘻	5	4	4	4	5	4	5	5	5	5	4	4	54
	気管切開	3	2	2	2	3	2	3	3	3	3	2	2	30
計		8	6	6	6	8	6	8	8	8	8	6	6	84

（単位：名）

2年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所リハ	胃　瘻	3	2	3	3	3	2	2	3	2	3	3	4	33
	気管切開	2	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	16
計		5	3	5	5	5	3	3	4	3	4	4	5	49

（８）年間実施行事

新型コロナウイルス感染防止対策として、全ての行事を中止した。各フロアにて創意工夫し、ハロウィンやクリスマス、お正月、ひな祭り等季節感を味わえるように飾り付けなどを実施した。

（９）ボランティアグループ月間受入状況

新型コロナウイルス感染防止のため、すべて受入れを中止していたが、感染状況を鑑み、７月にシンフォニー（縫い物）、１２月にパソコン教室（通所リハ利用者のみ）を再開した。

週	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1週	午前					エレクトーン
	午後		パソコン	パソコン ドライヤーケア	賛美歌 書道	ドライヤーケア 傾聴
2週	午前		民謡		オカリナ ハーモニカ	書道
	午後	傾聴 （話相手）	パソコン	パソコン ドライヤーケア	書道 讃美歌	ドライヤーケア 傾聴 シンフォニー
3週	午前	歌声箕面 （コーラス）				書道
	午後		パソコン	パソコン ドライヤーケア	書道 オカリナ・ ハーモニカ	ドライヤーケア シンフォニー ビューティケア 傾聴
4週	午前					書道
	午後		パソコン	パソコン ドライヤーケア	書道	ドライヤーケア 傾聴 シンフォニー
5週	午前					書道
	午後		パソコン	パソコン ドライヤーケア	書道	ドライヤーケア 傾聴 シンフォニー

※　上記の他に、曜日を固定しないように「喫茶サービス」を実施

（１０）家族・職員交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交流会は中止とし、アンケートのみを実施した。

【実施期間】令和３年９月１５日～１０月１５日
【配布方法】アンケート発送時点で入所・通所の利用者に配布
【配布数及び回答数】入所　　９３人　　回答　　３４人　（回収率　36.6%）
通所　　７２人　　回答　　３７人　（回収率　51.4%）
全体　１６５人　　回答　　７１人　（回収率　43.0%）

（１１）自主消防訓練の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、訓練を中止した。

（１２）看護、介護等学生実習生の受入

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校と協議し、２校のみ受け入れた。

＜受け入れた学校＞

年月日	学校名	実習内容	人数
10/12～4 日間	大阪保健福祉専門学校　看護学科３年生	在宅看護	4
11/2～3 日間		在宅看護	5
7/26～40 日間	大阪医療福祉専門学校　夜学部４年生	理学療法士養成	1
12/6～3 日間	大阪医療福祉専門学校　夜学部２年生	理学療法士養成	1
12/8～3 日間		理学療法士養成	1

＜受入れを中止した学校＞

種別	学校数	実習内容	人数
専門学校	1	介護福祉士養成	8
	1	看護師	23
	1	療法士	8
大学	3	教員免許取得のための介護等体験	11

（１３）福祉・介護体験等

例年、箕面市の新規採用職員や新任監督職の研修、市内中学校の学習で福祉体験の受け入れを行っているが、全て受入れを中止した。

（１４）研修の開催、参加状況

①外部研修

年月日	名称・テーマ	主催	参加者
3. 6.17	施設内教育体制の整備や教育方法を学ぶ	大阪府看護協会	1
7. 1	超高齢者の老いとは　高齢者の特性を踏まえたエンド・オブ・ライフ・ケア	大阪府看護協会	1
8.20	社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症に係る WEB 研修会	箕面市社会福祉法人連絡会	3
10. 7	介護現場におけるチーム力向上研修①	大阪介護老人保健施設協会	3
11. 4	介護現場におけるチーム力向上研修②	大阪介護老人保健施設協会	2
11.17	通所介護・デイサービスにおけるリスクマネジメント	大阪府地域福祉推進財団（ファイン財団）	1
11.18	環境改善で得られる生産性の向上	ラックヘルスケア株式会社	2
11.19	介護助手受入研修	大阪介護老人保健施設協会	1

11.30	新型コロナワクチン追加接種（3 回目） 及びコロナ感染症研修	箕面市医師会	1
12.15	大老協現況・中央情勢について	大阪介護老人保健施設協会	1
4. 1.14	大阪府 BCP 策定講座	大阪府介護施設における防災リーダー養成など支援業務事務局	1
1.14	BCP 作成について	大阪介護老人保健施設協会	1
1.22	認知症に関する講演会	大阪介護老人保健施設協会	1
2. 1	リスクマネジャー養成講座	全国老人保健施設協会	1
3.24	排便コントロール 食事からできるアプローチ	関西メディカル病院	1
3.27	専門性向上・口腔ケアチームケア	大阪府介護老人保健施設協会	1

②内部研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、３密を回避し座学研修から資料配布による研修とし、全職員が参加した。質問などは各委員会が担当した。

年月日	名称・テーマ	主催	参加者
3. 5.19	感染対策① 新型コロナウイルス感染を想定した防護具	感染防止対策委員会	80
6.16	避難訓練① ・動画から消火器の使い方を学ぶ ・火災、地震時の対応・避難経路について	安全対策委員会	82
8.18	摂食嚥下障害について ・嚥下の仕組みを知り、正しい姿勢で 食事介助を行うことができる	摂食嚥下委員会	94
9.13	事故防止・身体拘束防止① スピーチロックについて	苦情委員会	82
9.15	避難訓練② ・夜間想定（地震時の対応）	安全対策委員会	86
10.20	人権研修 ・高齢者虐待防止について	苦情委員会	85
11.17	感染対策②　そうだったのか！感染対策	感染対策委員会	84
12.15	認知症ケアについて ・地域における認知症高齢者への 災害時の対応を学ぶ	認知症ケア委員会	79

4.　1.19	褥瘡ケアについて	褥瘡対策チーム	84
2.16	事故防止・身体拘束防止② 明日から職場で実践できる新しい 事故防止対策	安全対策委員会	71
3.16	心肺蘇生	教育委員会	80

※　介護老人保健施設では、施設内処遇向上を目指し様々な委員会ならびにチームを設置している。
委員会は介護老人保健施設委員会要領に基づき、チームは必要に応じて設置。

（１５）地域向け交流事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全て中止した。

＜実施予定だった事業＞

・認知症サポーター養成講座
・認知症ステップアップ講座
・市民講座（健康運動指導関連、介護関連）
・体力測定会
・市内学童保育室への出張体験講座（高齢者疑似体験、車いすなど）